

高砂市文化振興基本方針 中間評価シート (平成25～28(29)年度)

基本目標	番号	基本施策	施策の方向	施策番号	担当課(主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を愛する人づくり	1-1-1	文化を担う人材の育成、活用	伝統文化などの継承者の育成	歴史や伝統文化を学ぶ機会の充実	文化スポーツ課	高砂文化教室「高砂学」	市民講師による歴史文化の講座、野外活動を行う。	高砂の歴史や文化について学ぶ機会を設ける。	さまざまな活動を通して、歴史文化を学ぶことができた。	A	参加者が定着している。講座によってキャンセルまじりや参加者が少ないものがある。	講座内容を見直しながら、引き続き実施する。	継続(見直し)
文化を愛する人づくり	1-1-1	文化を担う人材の育成、活用	伝統文化などの継承者の育成	歴史や伝統文化を学ぶ機会の充実	人事課文化スポーツ課生涯学習課	新任職員研修	高砂市歌、謡曲「高砂」、ゆかりの人物の紹介等を行う。	新任職員が謡曲「高砂」やゆかりの人物を知る機会を設ける。	新任職員研修の中で、高砂市歌、謡曲「高砂」、ゆかりの人物の紹介等を行い、高砂市の歴史や伝統文化についての知識の習得を図った。(4月実施)	A	特になし。	今後も継続して新任職員へ高砂市歌、謡曲「高砂」、ゆかりの人物の紹介等を実施します。	継続
文化を愛する人づくり	1-1-1	文化を担う人材の育成、活用	伝統文化などの継承者の育成	歴史や伝統文化を学ぶ機会の充実	文化会館	能楽講座	能楽を学ぶ教室を開催する。	能楽に触れる機会を提供し、関心を高める。	(文化スポーツ課)25年度 小・中学生(年2回)一般(年4回) (文化会館)26年度 小・中学生(年2回)一般(年4回)、27年度 能楽講座1回、謡曲仕舞体験5回、28年度お囃子体験1回	B	参加人数	「高砂学」謡曲編を協力して行うことを検討する。	未定
文化を愛する人づくり	1-1-1	文化を担う人材の育成、活用	伝統文化などの継承者の育成	歴史や伝統文化を学ぶ機会の充実	都市政策課(荒井ふるさと発見し隊、タウントレイユ伊保)	歴史学習会	荒井、伊保で地元学習会を設立し、タウンウォッチング、学習会等を行う。	地元の歴史学習会の支援に努める。	荒井ふるさと再発見し隊は、平成25年度に荒井地区の散策マップ「ふるさと宝の地図」と、歴史本「宝の地図へのみちしるべ」を作成し、発刊した。また、荒井地区の歴史ガイドとして活動している。タウントレイユ伊保は、伊保地区の史跡、旧跡等を散策し、学習会を開催した。	A	学習会において、今後どのような取組、歴史学習を行っていくのが課題である。	引き続き学習会を開催し、歴史や伝統文化を学習していく。	継続
文化を愛する人づくり	1-1-1	文化を担う人材の育成、活用	伝統文化などの継承者の育成	歴史や伝統文化を学ぶ機会の充実	中央公民館	市民教養講座	市民対象に8回の講座を開催する。	諸問題を色々な分野を通して複合的に学習し、各人の生活課題の解決に役立てる。	地域の歴史や生活での諸問題など、様々な分野でのテーマで講座を開設した。	B	参加数が募集定員の半数にも満たない講座も多く、講座開設の周知、市民が望む総合的な学習に役立つ講座内容について、情報を収集する必要がある。	地域課題についてのリサーチと、講座の周知について取り組む。	継続

基本目標	番号	基本施策	施策の方向	施策番号	担当課(主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を愛する人づくり	1-1-1	文化を担う人材の育成、活用	伝統文化などの継承者の育成	歴史や伝統文化を学ぶ機会の充実	教育センター	高齢者大学での講座	高齢者を対象に生涯学習の場を提供するとともに、高砂市の歴史や伝統文化を学習する講座を設ける。	高齢者の学習要求にこたえ、健康の増進、教養及び生活文化、生きがいの向上を図る。	高齢者大学のカリキュラムにおいて、高砂市の歴史や文化に係る講座を年に10回以上実施することができ、学生に対して高砂市の伝統文化や生活文化への関心の向上を図ることができた。	A	カリキュラムがマンネリ化しないよう、新しい講師やテーマを追求することが求められる。	今後も学生のニーズにこたえながら、歴史や文化に係る講座を実施していく。	継続
文化を愛する人づくり	1-1-1	文化を担う人材の育成、活用	伝統文化などの継承者の育成	歴史や伝統文化を学ぶ機会の充実	秘書担当	行事において謡曲「高砂」を活用	市制施行記念式典等行事のオープニングで謡曲「高砂」を謡う。	謡曲「高砂」に親しむ機会を設ける。	高砂市功労・善行者表彰式、新春交礼会では、謡曲合唱団たかさこの皆様を招き、謡曲「高砂」を披露いただくとともに、参加者全員で合唱を行った。また、市制60周年記念式典では、団員の皆様に謡曲「高砂」の仕舞を披露いただき、多くの方に謡曲「高砂」を親しんでいただく機会をつくることができた。高砂未来研究会のスポーツイベントにおいて、開会式で謡曲「高砂」の合唱を行った。	A	スポーツイベントで合唱を行ったが、スポーツ大会で合唱を行うことに違和感があるとの声があり、今後の継続について、会として方向性を決めていく必要がある。	謡曲「高砂」の合唱は、表彰式、新春交礼会では、今後も継続して取り組む。スポーツイベントでの合唱は、高砂らしさが出た地域のイベントとして、謡曲「高砂」の浸透を図っていきたい。	継続
文化を愛する人づくり	1-1-1	文化を担う人材の育成、活用	伝統文化などの継承者の育成	歴史や伝統文化を学ぶ機会の充実	文化スポーツ課	行事において謡曲「高砂」を活用	行事のオープニングや高砂文化教室「高砂学」で謡曲「高砂」を謡う。	謡曲「高砂」に親しむ機会を設ける。	60周年記念事業、高砂学、高砂市スポーツ少年団の日独同時交流事業や姉妹都市ラトロープ市との交流事業など、さまざまな場面で謡曲「高砂」を披露した。	A	特になし	引き続き、謡曲「高砂」を活用できる行事について検討し、謡う機会を増やしていく。	継続
文化を愛する人づくり	1-1-1	文化を担う人材の育成、活用	伝統文化などの継承者の育成	歴史や伝統文化を学ぶ機会の充実	産業振興課	地場産業人材育成等支援事業	松右衛門帆布織職人を育成する事業者に対して支援を行う。	市内の中小企業者等が行う地場産業の継承及び新規地場産業の創造に伴う人材の育成及びものづくり技術の向上に向けた取組を支援する。	織職人育成講座を月2回以上実施した。(講座生10名)市内に生産施設が整備され、月720mの松右衛門帆布の生産が可能となった。	A	育成された職人を雇用する事業所が市内では一箇所しかない状態である。	市が補助する織職人育成講座は平成29年度で終了し、30年度からは生産事業者が独自に後継者の育成を行う。市は市内での生産量を増やすため、地場産業の支援として松右衛門帆布のPR等に取り組む。	廃止

基本目標	番号	基本施策	施策の方向	施策番号	担当課(主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を愛する人づくり	1-1-2	文化を担う人材の育成、活用	伝統文化などの継承者の育成	伝統文化の体験学習	文化スポーツ課	高砂こども狂言ワークショップ	幼稚園、保育園の5歳児を対象に、こども狂言ワークショップ等を実施する。	幼稚園、保育園児を対象に、古典芸能である能狂言を体験する機会を設ける。	幼稚園、保育園での高砂こども狂言ワークショップ事業が定着してきた。こどもたちが能狂言に関心を持ち、ふるさと高砂に親しみを持つきっかけになっている。	A	保護者が参加できるように検討が必要である。	引き続き、幼稚園、保育園児を対象に、古典芸能である能狂言を体験する機会を設ける。	継続
文化を愛する人づくり	1-1-2	文化を担う人材の育成、活用	伝統文化などの継承者の育成	伝統文化の体験学習	学校教育課	「ふるさと高砂学」の学習	外部講師による謡曲「高砂」の学習をはじめ、高砂の特産物や今昔等についての学習を行う。	伝統や文化に関する教育を計画的に実施し、ふるさと高砂を愛する心を育てる。	謡曲「高砂」の学習を実施した。また、地域の人材を活用し、茶道体験職業体験、地域探検、地域行事への参加、田植え体験などを実施し、ふるさと高砂を考える機会となっている。	A	学校における時間の確保、日程調整等が課題である。	外部講師による謡曲「高砂」の学習をはじめ、高砂の特産物や今昔等についての学習を行う。	継続
文化を愛する人づくり	1-1-2	文化を担う人材の育成、活用	伝統文化などの継承者の育成	伝統文化の体験学習	生涯学習課	夏休み親子歴史体験教室	夏休み期間中に、小学3～6年生を対象に、マガタマづくり・石割・高砂染めの体験活動を、親子で行う。	こどもが親子で歴史体験を行うことで、先人の知恵を学ぶ機会を設ける。	親子参加による歴史体験活動を通じて、身近な文化財や歴史に触れる機会となっている。	A	定員を超過する場合もあり、参加人数や受け入れ体制の見直しなどを検討する必要がある。	継続して取り組む	継続
文化を愛する人づくり	1-1-2	文化を担う人材の育成、活用	伝統文化などの継承者の育成	伝統文化の体験学習	生涯学習課	移動歴史教室・歴史民俗資料室見学	社会科授業の一環で、小学校3年生の児童を対象に、民俗資料の貸し出しや歴史民俗資料室を見学してもらう。	こどもに、数十年前の実際の道具に触れ体感してもらうことで、郷土の歴史や先人の身近な暮らしを学習する機会となる。	親子参加による歴史体験活動を通じて、身近な文化財や歴史に触れる機会となっている。	A	定員を超過する場合もあり、参加人数や受け入れ体制の見直しなどを検討する必要がある。	継続して取り組む	継続
文化を愛する人づくり	1-1-2	文化を担う人材の育成、活用	伝統文化などの継承者の育成	伝統文化の体験学習	子育て支援室(保育所)	伝承遊び、祭りごっこ等	わらべうた遊びやこま、かるた遊び、凧づくりのほか、屋敷やみこし作り、おまつりごっこをする。	保育を通して、伝統文化を遊びながら体験する。	各年、時期に合わせていろいろな遊びを保育内容に取り入れ、遊びを通して伝承文化や伝承遊びに触れ楽しみながら学ぶことができた。	A	特になし	わらべうた遊びやお祭りごっこなど、時季に合わせた内容で実施する。	継続

基本目標	番号	基本 施策	施策の 方向	施策 番号	担当課 (主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を愛する人づくり	1-1-2	文化を担う人材の育成、活用	伝統文化などの継承者の育成	伝統文化の体験学習	学校教育課	伝承遊び、祭りごっこ等	わらべうた遊びやこま、かるた遊び、凧づくりのほか、屋台やみこしを作り、おまつりごっこをする。	伝承遊びやお祭りごっこをとおして豊かな心や意欲を育てる。	おまつりという共通の話題を通して、友だちとのつながりを感じながら、ふるさと高砂を思う連帯感を味わった。	A	特になし	伝承遊びやお祭りごっこをとおして豊かな心や意欲を育てる。 子育て支援室へ移管	廃止
文化を愛する人づくり	1-1-2	文化を担う人材の育成、活用	伝統文化などの継承者の育成	伝統文化の体験学習	学校教育課	俳句、短歌、古文の学習	小中学校において、俳句、短歌、古文を学習する。	「ことばの力」を育成する。	学習指導要領に基づき、全学年で伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の指導を行った。実施率100%。	A	特になし	小中学校において、俳句、短歌、古文を学習する。	継続
文化を愛する人づくり	1-1-2	文化を担う人材の育成、活用	伝統文化などの継承者の育成	伝統文化の体験学習	子育て支援室(保育所)	保育園での散歩	史跡や民話に関わる場所等を散歩する。	保育を通して、身近な伝統文化に触れる。	各行事(運動会、音楽会、生活発表会)にわらべ歌や遊びを取り入れ保護者や地域の人に披露した。	A	特になし	各行事で民話やわらべ歌を取り入れる。	継続
文化を愛する人づくり	1-1-2	文化を担う人材の育成、活用	伝統文化などの継承者の育成	伝統文化の体験学習	生涯学習課	放課後子ども教室	放課後や週末等に子どもの安全・安心な活動拠点を設け、文化活動等を通して地域住民との交流を図る。	子どもが安全・安心して活動できる場の確保	10小学校の児童を対象に年間約400回の教室を開催し、のべ15,000~17,000人が参加した。	A	体験活動で協力いただいている団体では、指導者の世代交代が進んでいないところが多く、指導者確保が難しくなっている。	各団体の指導者を対象にした情報交換やスキルアップのための講座を開催する。	継続
文化を愛する人づくり	1-1-2	文化を担う人材の育成、活用	伝統文化などの継承者の育成	伝統文化の体験学習	子育て支援室(保育所)	地域の民話や歌を取り入れた行事	運動会、音楽会、生活発表会等の行事で民話やわらべ歌を取り入れる。	保育を通して、伝統文化を遊びながら体験する。	地域に伝わる史跡や名所を直に訪れることで、伝統文化を学び、感じ、保育に生かすことができた。	A	特になし	園での散歩を通じて、直に史跡等に訪れることで伝統文化を身近に感じ学ぶ。	継続
文化を愛する人づくり	1-1-2	文化を担う人材の育成、活用	伝統文化などの継承者の育成	伝統文化の体験学習	文化スポーツ課(高砂観月能子ども仕舞実行委員会)	子ども仕舞教室	子ども対象に仕舞教室を実施し、高砂観月能で披露する。	(文化スポーツ課)募集記事を広報に掲載することにより、活動を支援する。伝統文化である能楽に親しみ、ふるさとを愛する心を育む。	募集記事を広報に掲載することにより、活動を支援することができた。伝統文化である能楽に親しみ、ふるさとを愛する心を育む機会を設けた。	A	特になし	引き続いて広報等で子ども仕舞教室をPRしていく	継続

基本目標	番号	基本施策	施策の方向	施策番号	担当課(主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を愛する人づくり	1-1-3	文化を担う人材の育成、活用	伝統文化などの継承者の育成	各種ボランティア養成講座の開催	子育て支援室(子育て支援センター)	保育ボランティア講座	社協と協力し、子育てボランティア講座を実施する。	子育てボランティア講座でわらべ歌や手遊びを学ぶ。	ボランティア講座実践の中では、毎年わらべ歌を取り上げている。日本の民族や生活、考え方、感じ方など、あらゆる情報が含まれるわらべ歌を子育てに活用することの効能を伝え、参加者の理解を得ている。	A	子育てボランティア講座参加者の増加を図る	今後も工夫し、継続させる。	継続
文化を愛する人づくり	1-1-4	文化を担う人材の育成、活用	伝統文化などの継承者の育成	指導者育成のための研究会の開催	未来戦略推進室 若者・青少年支援担当(高砂市子ども会育成協議会)	子ども会リーダー育成研修会	団体行動の中で、さまざまな体験活動を行う。	体験活動を通して、他校区の子ども会リーダーとの交流を深める。	リーダー育成研修会を通じ他校区児童との交流が深まっている。また、平成27年度以降研修成果の発表の場として毎年11月の「親子ふれあいハイキング(市子連事業)」開催時に子ども達による模擬店を出店しているが、準備期間中また開催後にも意見交換を行うなど私生活においても交流が継続して行われている。	A	毎年恒例の行事として定着し、子ども会の中では事業の認知はされてはいるが、参加者募集の期間が短く(約2週間)、子ども会会員にあまり周知しているか疑問がある。	リーダー育成研修会、子ども会活動を通じ、これからの地域における様々な年齢層をつなぐキーパーソンとなる人材を育成することを目的としている。そのための事業として「プレゼン力養成講座」、「子どもによる絵本読み聞かせ会」、「高砂キッズプレゼン大会」などを実施、計画している。	継続
文化を愛する人づくり	1-2-1	文化を担う人材の育成、活用	地域の歴史・文化研究科や専門家、コーディネーターの活用	研究者・専門家の活用	文化スポーツ課	高砂文化教室「高砂学」での講師	市民講師を募集し、「高砂学」にて講義や指導を行う。	地域で活動している人の知識、経験を活用し、知識や技術の普及に努める。	平成25年～29年で32人のボランティアとして登録された市民講師の指導、協力を得て、講座を開催することができた。	A	マンネリ化しないよう工夫が必要である。	新たに講師を募集し、講義や指導を依頼する。地域で活動している人の知識、経験を活用し、知識や技術の普及に努めていく。	継続
文化を愛する人づくり	1-2-1	文化を担う人材の育成、活用	地域の歴史・文化研究科や専門家、コーディネーターの活用	研究者・専門家の活用	学校教育課	謡曲「高砂」の指導	専門家に依頼し、学校で謡曲「高砂」を指導する。	謡曲「高砂」に親しむ機会を設ける。	市内全小中学校に於いて実施した。実施率100%。全小中学校で、謡曲高砂の学習が定着した。	A	学校における時間の確保、日程調整等が課題である。	専門家に依頼し、学校で謡曲「高砂」を指導するとともに、謡曲「高砂」に親しむ機会を設ける。	継続

基本目標	番号	基本 施策	施策の 方向	施策 番号	担当課 (主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を愛する人づくり	1-2-1	文化を担う人材の育成、活用	地域の歴史・文化研究科や専門家、コーディネーターの活用	研究者・専門家の活用	各課	歴史ガイドクラブによるまち歩き	歴史ガイドクラブにまち歩きの案内を依頼する。	歴史ガイドクラブに依頼することにより、市内の遺跡等の周知に努める。	歴史ガイドクラブに依頼することにより、市内の遺跡等の周知に努めることができた。	A	なし	歴史ガイドクラブに依頼することにより、市内の遺跡等の周知に努める。	継続
文化を愛する人づくり	1-2-1	文化を担う人材の育成、活用	地域の歴史・文化研究科や専門家、コーディネーターの活用	研究者・専門家の活用	生涯学習課	文化財審議委員会	市文化財保護条例に基づき、文化財の指定、保存及び活用について審議する。	文化財の保護を図る。	文化財の保存と活用について、専門的見地から審議いただいている。	A	委員の高齢化が進んでおり、各専門分野の後継者選任について検討する必要がある。	文化財の保存にとどまらず、多様な活用策やまちづくりにつながる取組み等を審議事項として挙げることを検討する。	継続
文化を愛する人づくり	1-2-1	文化を担う人材の育成、活用	地域の歴史・文化研究科や専門家、コーディネーターの活用	研究者・専門家の活用	中央公民館	市民教養講座(再掲1-1-1)	市民対象に8回の講座を開催する。	諸問題を色々な分野を通して複合的に学習し、各人の生活課題の解決に役立てる。	地域の歴史や生活での諸問題など、様々な分野でのテーマで講座を開設した。	B	参加数が募集定員の半数にも満たない講座も多く、講座開設の周知、市民が望む総合的な学習に役立つ講座内容について、情報を収集する必要がある。	地域課題についてのリサーチと、講座の周知について取り組む。	継続
文化を愛する人づくり	1-2-1	文化を担う人材の育成、活用	地域の歴史・文化研究科や専門家、コーディネーターの活用	研究者・専門家の活用	生涯学習課(図書館)	読み聞かせボランティア	読み聞かせボランティアの募集、登録を行い、子どもたちを対象とした読み聞かせなどの活動を実施する。	子どもたちに本の楽しさを伝え、読書活動を推進するため、読み聞かせボランティアを募集し、その活用を図る。	読み聞かせボランティアを図書館で募集し、子どもたちを対象にした読み聞かせ行事を実施した。	A	事業イベントを周知する広報の見直しや読み聞かせボランティアの募集や育成がさらに必要。	ボランティアと図書館が協力して、子どもの読書活動をさらに推進するイベントの実施が必要。	継続
文化を愛する人づくり	1-2-1	文化を担う人材の育成、活用	地域の歴史・文化研究科や専門家、コーディネーターの活用	研究者・専門家の活用	生涯学習課(図書館)	図書館運営管理事業	高砂市立図書館名誉館長(歴史文化推進員)を配置し講演会等を実施する。	高砂市立図書館を活動拠点として歴史及び文化の振興又は啓発を促進する。	平成28年2月14日に開館した新図書館において、名誉館長による講座を28年度に24回計画したが、体調不良により平成28年12月末で名誉館長が退任されたため、14回の実施で、のべ608名の参加にとどまった。 平成29年6月に後任の名誉館長が就任され、9月から講座を再開する。	B	講座が1年続かなかつたため、講座内容の検証ができず、市民ニーズが把握できていない。	名誉館長と協力して、名誉館長以外の講師を呼んで、人材育成ができるような講座にした。	継続

基本目標	番号	基本施策	施策の方向	施策番号	担当課(主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を愛する人づくり	1-2-1	文化を担う人材の育成、活用	地域の歴史・文化研究科や専門家、コーディネーターの活用	研究者・専門家の活用	都市政策課	景観アドバイザー派遣制度(県)	県の制度の利活用の推進に努める。	県の制度の利活用の推進のためPRを図る。	県の制度の利活用の推進のためPRを図っている。	A	市民、各団体等へのPRの仕方。	引続き県の制度の利活用の推進のためPRする。	継続
文化を愛する人づくり	1-2-1	文化を担う人材の育成、活用	地域の歴史・文化研究科や専門家、コーディネーターの活用	研究者・専門家の活用	未来戦略推進室 若者・青少年支援担当(高砂市子ども会育成会連絡協議会)	子ども会将棋大会	小学生を対象に将棋大会を実施する。	将棋を通して、思考力、判断力、決断力の向上を図る。	平成29年度で15回目となり事業は定着化している。また参加者は低学年のうちから毎年参加している児童も多く、対局を通じお互いの交流を深めている。 また、毎年審判員として日本将棋連盟高砂支部の好田隆先生を招きルール、対局姿勢などを指導してもらっている。	A	参加者の拡大、将棋普及のために「はさみ将棋の部」を設け募集しているが、参加者が少なく実施できていない。	少子化、子ども会会員の減少に伴い参加者も当初と比較すれば減っているが、毎年一定数の参加問合せがあり市子連の文化事業として継続していく。	継続
文化を愛する人づくり	1-2-1	文化を担う人材の育成、活用	地域の歴史・文化研究科や専門家、コーディネーターの活用	研究者・専門家の活用	環境政策課	自然観察会	研究者・専門家により高砂の自然環境に関する観察会を実施する。	第2次環境基本計画策定に際し、市民に高砂の自然に対する関心を持っていただくため。	観察会の実施により、市内の環境保全のあり方について広く周知することができた。又、第2次高砂市環境基本計画の策定にあたり、継承していくべき自然環境についての学習機会を設けたことにより、市民の意見を反映した施策を検討することができた。	A	第2次環境基本計画策定に際し、市民に環境について関心を持ってもらう目的は達成できたが、今後は別の形で環境学習の場を市民に提供することが必要である。	環境政策課主催の自然観察会は、平成28年度で終了した。平成29年度以降は、文化スポーツ課が引継担当課となり継続して実施する。	廃止
文化を愛する人づくり	1-2-2	文化を担う人材の育成、活用	地域の歴史・文化研究科や専門家、コーディネーターの活用	各種ボランティアの募集、登録、活用	文化スポーツ課	高砂文化教室「高砂学」での講師(再掲1-2-1)	市民講師を募集し、「高砂学」にて講演や指導を行う。	地域で活動している人の知識、経験を活用し、知識や技術の普及に努める。	平成25年～29年で32人のボランティアとして登録された市民講師の指導、協力を得て、講座を開催することができた。	A	マンネリ化しないよう工夫が必要である。	新たに講師を募集し、講義や指導を依頼する。地域で活動している人の知識、経験を活用し、知識や技術の普及に努めていく。	継続
文化を愛する人づくり	1-2-2	文化を担う人材の育成、活用	地域の歴史・文化研究科や専門家、コーディネーターの活用	各種ボランティアの募集、登録、活用	文化スポーツ課(国際交流)	翻訳・通訳ボランティアの登録及び派遣	外国語の翻訳、通訳ボランティアを募集し、依頼により派遣等を行う。	外国籍の方の日常生活の支援や国際交流に関する公的機関の補助を行う。また、庁内や市内各団体の補助を行う。	医療や教育に関する翻訳、通訳業務を行うことができた。	A	スペイン語、ポルトガル語など英語以外の通訳ボランティアの確保が必要。	各種ボランティアの調整、派遣など生活相談の充実を図る。	継続

基本目標	番号	基本施策	施策の方向	施策番号	担当課(主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を愛する人づくり	1-2-2	文化を担う人材の育成、活用	地域の歴史・文化研究科や専門家、コーディネーターの活用	各種ボランティアの募集、登録、活用	市民活動推進課	たかさご万灯祭でのボランティア募集	高砂市民ボランティアの登録者に活動依頼を行い、キャンドル点灯に係る作業や歴史ガイドの活動を行う。	登録者に、万灯祭への積極的な参加を促すことを目的とする。	【万灯祭2日間】 平成25年度⇒3団体 36名 平成26年度⇒3団体 59名 平成27年度⇒3団体、個人(2名)⇒57名 平成28年度⇒3団体 52名	B	たかさご万灯祭での、市民ボランティアの登録者数は横ばいである。さらなる登録者数の増加が必要である。	ボランティア参加者が、積極的に参加ができるような環境づくりをして、市民ボランティア登録の増加を目指す。	継続 (見直し)
文化を愛する人づくり	1-2-3	文化を担う人材の育成、活用	地域の歴史・文化研究科や専門家、コーディネーターの活用	地域住民による講師の活用	子育て支援室(保育所)	伝承遊び等	祖父母や地域の高齢者に七夕まつり、正月遊び、わらべうた遊びなどを教えてもらって遊ぶ。	地域の異世代の人たちと交流を持つことで子供たちを成長させる。	七夕祭りや運動会等に、地域の高齢者を招き、伝承遊びなどを通じ、異世代の交流活動をしなが、地域や人とのつながりを感じることができた。	A	特になし	伝承遊びなどを通じ地域の異世代の人たちと交流活動を行う。	継続
文化を愛する人づくり	1-2-3	文化を担う人材の育成、活用	地域の歴史・文化研究科や専門家、コーディネーターの活用	地域住民による講師の活用	学校教育課	伝承遊び等	祖父母や地域の高齢者に七夕まつり、正月遊び、わらべうた遊びなどを教えてもらって遊ぶ。	伝統や文化に関する教育を計画的に実施しふるさと高砂を愛する心を育てる。	高齢者や地域の人との交流活動として伝承遊びを保育に取り入れ、伝承遊びを通して高齢者や地域の人との触れ合いを楽しむことができた。	A	特になし	祖父母や地域の高齢者に七夕まつり、正月遊び、わらべうた遊びなどを教えてもらう活動を計画的に実施し、ふるさと高砂を愛する心を育てる。	継続
文化を愛する人づくり	1-2-4	文化を担う人材の育成、活用	地域の歴史・文化研究科や専門家、コーディネーターの活用	クラブ活動指導者の招へい	学校教育課	学校のクラブ活動への指導者招聘	中学校の部活動指導を、外部の講師に委託する。	外部講師に委託することにより、専門的な技術指導を受ける機会とする。	茶道・華道、書道、柔道、野球等について講師を招聘し、全中学校に配置した。生徒が専門的な技術指導を受ける機会となった。	A	専門的技術はもちろん、指導者としてふさわしい人材を配置する必要がある。	中学校の部活動指導を、外部講師に委託することにより、専門的な技術指導を受ける機会とする。	継続
文化を愛する人づくり	1-3-1	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	子どもたちの創造・発表する機会の提供、充実	文化スポーツ課(文化連盟加盟団体)	文化まつり事業等各種イベントへの参加	保育園・幼稚園・学校等に対して、文化まつり事業等各種イベントへの参加を推進する。	市内の子どものために文化活動の発表の場を設け、感性を磨く機会とする。	市内の合唱部が市民音楽祭に参加し、発表する場を設けることができた。	A	特になし	引き続き市民音楽祭への参加や、他の文化発表の場を設ける。	継続



基本目標	番号	基本 施策	施策の 方向	施策 番号	担当課 (主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を愛する人づくり	1-3-1	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	子どもたちの創造・発表する機会の提供、充実	子育て支援室(保育所)	保育活動(音楽会、生活発表会等)	保護者や地域の人を招待し、音楽に親しんだり、劇遊びをする。	園の行事を通じて、日常的に文化に触れる機会を増やす。	音楽会や生活発表会などの行事を通して、遊びの成果を披露した。	A	特になし	各行事を通して遊びの成果を披露する。	継続
文化を愛する人づくり	1-3-1	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	子どもたちの創造・発表する機会の提供、充実	学校教育課	保育活動(音楽会、生活発表会等)	保護者や地域の人を招待し、音楽に親しんだり、劇遊びをする。	音楽や発表会をとおして保護者と地域の人と交流を持つ。	音楽会や生活発表会などの行事を通して遊びの成果を披露し、楽しく遊びに取り組む様子を知らせるとともに、保護者や地域の人と交流を持つことができた。	A	特になし	音楽や発表会をとおして保護者や地域の人と交流を持つ。	継続
文化を愛する人づくり	1-3-1	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	子どもたちの創造・発表する機会の提供、充実	子育て支援室(保育所)	各種イベントでの園児の作品展示	園児の制作した作品や絵を展示する。	各種イベントでの園児の作品展示することで文化に親しむ機会を与える。	園児たちの作品を各種イベントや地域の作品展に展示し保護者や地域の人たちに披露した。	A	特になし	作品展を通して保護者や地域の方が子どもたちの作品に触れる機会を提供する。	継続
文化を愛する人づくり	1-3-1	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	子どもたちの創造・発表する機会の提供、充実	子育て支援室(保育所)	子育て応援フェア	・歴史文化の継承に取り組んでいる行事等を紹介する。 ・地域の民話の読み聞かせや、参加者が身体、歌、言葉で表現して遊ぶ。	市内の就学前のこども達にふるさとのことを知り、体で表現する機会を与える。	市内の就学前の子ども達や保護者に、各園で歴史文化の継承に取り組んでいる行事の紹介、また会場には民話の読み聞かせや、子育て相談コーナーを設け、高砂の歴史文化、地域の魅力を伝えながら、保護者と共にふるさとのことや創造、体で表現することを学ぶ機会を提供した。	A	・実施内容 ・実施時期 ・他のイベントとの連携	地域の魅力を伝えながら、子育て応援として機会を提供する。	継続
文化を愛する人づくり	1-3-1	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	子どもたちの創造・発表する機会の提供、充実	学校教育課	芸術鑑賞会、教育美術展、音楽会	小中学校において、芸術鑑賞会、教育美術展、音楽会を行う。	芸術鑑賞会や美術展、音楽会を行うことで、文化の関心を高める。	各学校に於いて芸術鑑賞会、音楽会を実施することで、児童生徒の文化に対する関心を高めることができた。教育美術展には全小中学校が参加した。	A	特になし	芸術鑑賞会や美術展、音楽会を行うことで、児童生徒の文化に対する関心を高める。	継続

基本目標	番号	基本施策	施策の方向	施策番号	担当課(主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を愛する人づくり	1-3-1	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	子どもたちの創造・発表する機会の提供、充実	学校教育課	合唱コンクール、文化祭	中学校において、合唱コンクール、文化祭を行う。	文化祭や合唱コンクールを計画的に実施することにより、文化に対する興味関心を高める。	各校で工夫し、魅力的な文化祭や合唱コンクールを実施することができた。また、文化に対する興味関心を高めることができた。	A	特になし	文化祭や合唱コンクールを計画的に実施することにより、文化に対する興味関心を高める。	継続
文化を愛する人づくり	1-3-1	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	子どもたちの創造・発表する機会の提供、充実	消防(予防課)	防火ポスター	ポスターの募集を行う。	火災予防啓発	防火ポスターの募集を募ることにより、小学生の「防火」に対する意識の高揚を図り、また、多感な時期の小学高学年(5・6年生)を対象に、夏休みの期間を要し作成することで作品の向上を図ることができた。選考された作品をアスパ高砂にて展示公開するため、多くの住民が鑑賞することで防火広報が浸透した。消防長、教育長、防火協会長賞の3賞を選考しており、秋の火災予防運動イベントの中で表彰及び記念品を渡しており、その3賞の中から1点を原画として防火ポスターを製版し、各事業所・店舗等へ配布することで更なる防火広報を促している。	A	選考された防火ポスターの中から優秀な作品を原画として防火ポスターを製版し、各事業所・店舗等へ配布することで更なる防火広報を促しているが、予算等厳しいため印刷枚数については、限られているため効率よく配布できるよう考慮する必要がある。	小学生の「防火」に対する意識の高揚を図るため、今後も継続して募集を行うとともに、火災予防の広報に努める。	継続
文化を愛する人づくり	1-3-1	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	子どもたちの創造・発表する機会の提供、充実	まちづくり(管理課)	交通安全ポスター	ポスターの募集を行う。	交通安全啓発	平成26年末から平成28年末迄での高砂の事故発生が40件減少しており、交通安全啓発活動の一環として行った大型商業施設での交通安全ポスター掲示が多くの市民の交通安全意識の浸透につながり、高砂の事故件数が減少した。	A	自転車交通安全対策重点推進地域に指定されていることから、交通安全ポスターを通じて自転車利用者の交通ルール、交通マナーの更なる向上を図る。	交通安全ポスターの募集について、自転車ヘルメットの着用促進をテーマとし、交通安全啓発の一環として取組むことにより、事故件数の更なる減少と、自転車ヘルメットの着用率を100%にする。	継続
文化を愛する人づくり	1-3-1	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	子どもたちの創造・発表する機会の提供、充実	まちづくり(建設課)	花と緑の写生コンクール	ポスターの募集を行う。	市内の小中学生を対象に、花や緑への関心を高める。	写生を通じて花や緑への関心を高めることができた。	A	特になし。	H25 2,116点、H26 2,191点、H27 2,040点、H28 2,084点の出品があり、一定の効果が挙げられていると評価する。	継続

基本目標	番号	基本施策	施策の方向	施策番号	担当課(主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を愛する人づくり	1-3-1	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	子どもたちの創造・発表する機会の提供、充実	選挙管理委員会	選挙啓発ポスター	ポスターの募集を行う。	選挙啓発	小学生及び中学生の応募は堅調であるが、選挙権年齢に最も近い高校生の応募がない状態である。 平成25年度 小学生47名、中学生49名、高校生0名 平成26年度 小学生59名、中学生38名、高校生0名 平成27年度 小学生93名、中学生67名、高校生0名 平成28年度 小学生57名、中学生190名、高校生0名	B	数年来高校生の応募者が皆無である。	高校生の応募者を増やすためにポスター募集の啓発、宣伝を強化する。	継続
文化を愛する人づくり	1-3-1	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	子どもたちの創造・発表する機会の提供、充実	文化スポーツ課(高砂マラソン大会実行委員会)	高砂マラソンポスター	ポスターの募集を行う。	高砂マラソン大会の広報	毎年高砂マラソンのポスター募集をし、優秀な作品をポスターとして採用している。	A	ポスター作成期間が短くなる。	マラソンのポスターとしてふさわしい作品を、今後も採用していく。	継続
文化を愛する人づくり	1-3-1	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	子どもたちの創造・発表する機会の提供、充実	文化スポーツ課	市美術展ポスター	ポスターの募集を行う。	市美術展の広報	27年度のみ、作品をポスターとして採用できたが、28、29年度はポスターとして採用ができなかった。	B	高校生からのポスターの応募がない。高校に美術部がなく、ポスターの募集が困難である。	ポスターの応募者が少ないため、ポスター募集は廃止する。	廃止
	1-3-2					1-1-2							
文化を愛する人づくり	1-3-3	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	未就学(園)児を対象としたイベントの開催	子育て支援室(子育て支援センター)	未就園児親子サークル活動	体験保育らんらんやすこやかグループ活動を行う。	サークル活動の中でわらべ歌や手遊びを行う。	親子活動の中では毎回わらべうたや手遊びを実施することにより親子の愛着形成が深まっている。	A	特になし	今後も工夫し、継続させる。	継続
文化を愛する人づくり	1-3-3	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	未就学(園)児を対象としたイベントの開催	子育て支援室(子育て支援センター)	子育て支援センターの各事業	つどいの広場、遊びのキャラバン、サークル交流会を実施する。	各事業の中で季節行事や遊びを取り入れて実施する。	伝承的な季節の行事を行い、行事の由来を知らせている。季節行事を行わない家庭も増えており、効果があがっている。	A	今後も工夫し、継続させる。	高砂歳時記として地域の伝統的な行事を紹介し、高砂ならではの子育てを楽しめるようにする。	継続

基本目標	番号	基本施策	施策の方向	施策番号	担当課(主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を愛する人づくり	1-3-4	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	外部講師によるイベントの開催	子育て支援室(子育て支援センター)	お話グループによる絵本の読み聞かせ	おはなしルームを開設し、絵本に親しみ、親子の交流を深める。	おはなしルームで絵本に親しみ、昔話も取り入れる。	毎月2回の絵本の読み聞かせやおはなし会を開催し、絵本への興味や豊かな創造性の発達、言葉の習得が成されている。	A	参加者の増加を図る。	絵本やお話に興味を持てるよう発達にふさわしい絵本の紹介等を行う。	継続
文化を愛する人づくり	1-3-5	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	外国との交流事業の促進	文化スポーツ課	ラトローブ市との姉妹都市交流	姉妹都市であるオーストラリアのラトローブ市と親善大使の派遣、受入をし、交流する。	姉妹都市であるオーストラリアのラトローブ市と友好親善を深めるとともに、国際理解や関心を高める。	姉妹都市交流を深めるとともに、異文化に触れることにより、国際交流への関心を高め、文化を再認識することができた。	A	募集方法など旅行業法に抵触しないよう改善していく必要がある。	今後どのような交流ができるのかラトローブ市と協議し、交流事業の拡充を図る。	継続
文化を愛する人づくり	1-3-5	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	外国との交流事業の促進	学校教育課	ALTの招聘 ※ALT:外国語授業の補助を行う外国語指導助手(Assistant of Language Teacher)の略語。	英語圏内からALTを招聘し、各小中学校で授業や事業を行う。	ALTと一緒に学習することで英語に興味を持ち学習意欲を高める授業を行う。	小中学校と中学校に6名の講師を配置した。児童・生徒は、ALTと一緒に学習することで英語に興味を持ち、学習意欲を高める授業を行うことができた。	A	平成32年度に施行される新学習指導要領では、小学校3・4年に外国語活動が導入され、小学校5・6年では外国語となる。これに向けてのALTの増員が課題である。	英語圏内からALTを招聘し、各小中学校で授業や事業を行う。ALTと一緒に学習することで英語に興味を持ち、学習意欲を高める授業を行う。	継続
文化を愛する人づくり	1-3-5	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	外国との交流事業の促進	文化スポーツ課(国際交流)	ALTの招聘に関する支援 ※ALT:外国語授業の補助を行う外国語指導助手(Assistant of Language Teacher)の略語。	ラトローブ市からALTを招聘するにあたり、教育委員会の支援を行う。	外国語教育の充実及び異文化に対する理解や関心を高めるための支援を行う。	新たなALTを招聘したときや、ALTが帰国する際に、通訳等教育委員会の支援を行った。	A	特になし	ラトローブ市からALTを招聘するにあたり、教育委員会の支援を行う。	継続
文化を愛する人づくり	1-3-5	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	外国との交流事業の促進	文化スポーツ課(国際交流)	トライやるウィークでの生徒受け入れ	市内中学校より生徒を受け入れ、国際交流の仕事について学ぶ機会を提供する。	国際交流の仕事を通じて、国際理解への関心を高める。	中学生を受け入れ、語学教室の見学、通信の作成、書類整理等、国際交流の仕事学ぶ機会を与え、国際理解への関心を高めることができた。	A	特になし	国際交流の仕事を通じて、国際理解への関心を高められるプログラムを考えていく。	継続
文化を愛する人づくり	1-3-5	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	外国との交流事業の促進	文化スポーツ課(国際交流)	子どもインターナショナルデイキャンプ(播磨町・稲美町との合同事業)	小学生を対象にしたキャンプを実施する。	他地域の子どもやALTと共に、キャンプを通じて外国語を楽しく学ぶ機会を提供する。	他地域の子どもやALTと共に、キャンプを通じて外国語を楽しく学ぶことができた。	A	特になし	他地域の子どもやALTと共に、キャンプを通じて外国語を楽しく学ぶ機会を提供する。	継続

基本目標	番号	基本 施策	施策の 方向	施策 番号	担当課 (主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を愛する人づくり	1-3-6	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	地域の子どもが集まり、活動できる場の充実	文化スポーツ課 (スポーツ少年団)	キッズクラブ	陸上競技場等で、陸上、絵画、音楽等の活動を行う。	遊びを通じて基礎体力を養うとともに、伝承遊び等を取り入れ、文化・スポーツ両面から活動する場を設ける。	伝承遊びほかさまざまな活動を取り入れ、文化・スポーツ両面から活動する場を設けることができた。	A	特になし	なし	継続
文化を愛する人づくり	1-3-7	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	鑑賞・体験機会の充実	生涯学習課	放課後子ども教室	放課後や週末等に子どもの安全・安心な活動拠点を設け、文化活動等を通して地域住民との交流を図る。	子どもが安全・安心して活動できる場の確保	10小学校の児童を対象に年間約400回の教室を開催し、のべ15,000~17,000人が参加した。	A	体験活動で協力いただいている団体では、指導者の世代交代が進んでいないところが多く、指導者確保が難しくなっている。	各団体の指導者を対象にした情報交換やスキルアップのための講座を開催する。	継続
文化を愛する人づくり	1-3-7	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	鑑賞・体験機会の充実	都市政策課	まちづくり学習 (再掲1-1-2)	総合的な学習の時間においてまちづくり学習を行う。	まちづくり学習の推進を図る。	民間において、まちづくり学習を行っており、開催していない。	C	特になし。	PRが図られ周知されたため。	廃止
文化を愛する人づくり	1-3-7	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	鑑賞・体験機会の充実	生涯学習課	放課後子ども教室	放課後や週末等に子どもの安全・安心な活動拠点を設け、文化活動等を通して地域住民との交流を図る。	子どもが安全・安心して活動できる場の確保	10小学校の児童を対象に年間約400回の教室を開催し、のべ15,000~17,000人が参加した。	A	体験活動で協力いただいている団体では、指導者の世代交代が進んでいないところが多く、指導者確保が難しくなっている。	各団体の指導者を対象にした情報交換やスキルアップのための講座を開催する。	継続
文化を愛する人づくり	1-3-7	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	鑑賞・体験機会の充実	各公民館	ふれあい広場	地域の子どもを対象として絵画教室、書道教室を開催する。	世代間相互の交流を通しての体験学習により、文化技能等の伝承を図るとともに地域の連帯感を高める。	子供を対象とした絵画、書道などの教室、親子、三世代の交流を通しての体験学習による講座を開設した。	B	講座によっては参加者の少ない講座、講座内容の固定化しているものもあり、講座内容について見直す必要がある。	子供を中心とした地域との連携を高めるために積極的な周知と活動内容の見直しを進める。	継続

基本目標	番号	基本施策	施策の方向	施策番号	担当課(主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を愛する人づくり	1-3-7	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	鑑賞・体験機会の充実	生涯学習課(図書館)	読み聞かせボランティア	読み聞かせボランティアが、幼児から小学校低学年の児童を対象に、絵本や物語の読み聞かせ、ストーリーテリング等を行う。	子どもたちに本の楽しさを伝え、子どもの想像力を豊かにし、読書を通して心の育成を図る。	図書館の読み聞かせボランティアが「えほんのじかん」や「おはなし会」などを図書館で毎月2回以上実施した。	A	事業イベントを周知する広報の見直しや読み聞かせボランティアの募集や育成がさらに必要。	ボランティアと図書館が協力して、子どもの読書活動をさらに推進するイベントの実施が必要。	継続
文化を愛する人づくり	1-3-7	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	鑑賞・体験機会の充実	未来戦略推進室 若者・青少年支援担当(高砂市子ども会育成会連絡協議会)	子ども会リーダー育成研修会	団体行動の中で、さまざまな体験活動を行う。	体験活動を通して、他校区の子ども会リーダーとの交流を深める。	リーダー育成研修会を通じ他校児童との交流が深まっている。また、平成27年度以降研修成果の発表の場として毎年11月の「親子ふれあいハイキング(市子連事業)」開催時に子ども達による模擬店を出店しているが、準備期間中また開催後にも意見交換を行うなど私生活においても交流が継続して行われている。	A	毎年恒例の行事として定着し、子ども会の中では事業の認知はされているが、参加者募集の期間が短く(約2週間)、周知方法に今後検討の余地がある。	リーダー育成研修会、子ども会活動を通じ、これからの地域における様々な年齢層をつなぐキーパーソンとなる人材を育成することを目的としている。そのための事業として「プレゼン力養成講座」、「子どもによる絵本読み聞かせ会」、「高砂キッズプレゼン大会」などを実施、計画している。	継続
文化を愛する人づくり	1-3-7	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	鑑賞・体験機会の充実	未来戦略推進室 若者・青少年支援担当(各地区青少年健全育成協議会)	青少年健全育成事業	文化活動を通して、青少年の異世代交流を行う。	異年齢交流、異世代交流による地域活動を推進する。	各地区において特色のある事業が計画、実施されている。殊に夏まつり、総おどり、とんど等は多くの住民の参加を得て行われている。また、地区の実情に照らし合わせ事業の変更なども行われている。	A	校区青少年健全育成協議会役員の減少、高齢化のに伴い役員の負担が増大している。また、各地区への事業委託金も長く据え置かれたまま新規事業に取り組む上での課題となっている。	各地区における交流事業として継続すべきで、高砂市青少年健全育成連絡協議会としても市にその重要性を訴えていく。また連絡協議会において各地区の取り組み、問題点などの情報交換を行い自地区の事業改善に努めている。	継続
文化を愛する人づくり	1-3-7	文化を担う人材の育成、活用	子どもの学習機会の充実	鑑賞・体験機会の充実	未来戦略推進室 若者・青少年支援担当	夏休み工作教室	小学生を対象に自由木工工作を実施する。	工作を通じて物づくりの楽しさを体験する。	参加条件として自分で考えた作品の設計図の作成を課しているが、毎年定員を越える応募がある。また、参加者のアンケートを見ても「楽しかった」、「ていねいに教えてもらった」、「いい経験になった」との回答を毎年得ている。	A	指導者の高齢化に伴い事業継続が危ぶまれた。今後は県森林課に相談し指導者紹介を受け事業継続化に努めなければならない。	開催時間が従来9時から12時としていたため未完成のまま終える参加者もあった。そのため平成29年度から指導者と相談し時間延長を行い改善を図ったところであり今後も継続していく。	継続

基本目標	番号	基本施策	施策の方向	施策番号	担当課(主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を育てる舞台づくり	2-1-1	文化資源の発掘、保存、活用	地域の宝の発掘、ゆかりの人物などの顕彰	ふるさと文化財登録制度の推進	生涯学習課	ふるさと文化財登録制度	既存の文化財類型に収まらないものや、文化財価値にこだわらず地域で大切に継承されている資源を、市民から申請のあった物件を登録し、周知を図る。	地域ゆかりの文化財を顕彰し継承することで、市民が主体となってふるさと高砂を認識する資源として活用できる。	平成25年度に1件、26年度に4件、ふるさと文化財に登録された。	A	27年度以降の登録は0件のため、制度の周知や候補物件の選定などを行い、登録を推進する必要がある。	市民に周知を図る。	継続
文化を育てる舞台づくり	2-1-2	文化資源の発掘、保存、活用	地域の宝の発掘、ゆかりの人物などの顕彰	文化賞など表彰制度による顕彰	文化スポーツ課	文化奨励賞、文化功労賞	・文化賞検討委員会を開催し、文化奨励賞を推薦する。 ・文化連盟より文化功労賞の推薦を依頼する。	文化の興隆に貢献した者等を表彰制度により顕彰する。	文化の興隆に貢献した者等を表彰制度により顕彰することができた。	A	表彰対象者の把握	文化の興隆に貢献した者等を表彰制度により顕彰する。	継続
文化を育てる舞台づくり	2-1-3	文化資源の発掘、保存、活用	地域の宝の発掘、ゆかりの人物などの顕彰	歴史・文化遺産めぐりの実施	文化スポーツ課	高砂文化教室「高砂学」(再掲1-1-1)	市民講師による案内でまち歩きを行い、高砂市内の文化財建造物や史跡を見学する。	まち歩きを通して高砂市内の文化財建造物や史跡を持ってもらう。	まち歩きを通して高砂市内の文化財建造物や史跡に関する知識を持ってもらうことができた。	A	地区や日程により、参加者数にばらつきがある。	まち歩きを通して高砂市内の文化財建造物や史跡に関心を持ってもらう機会を設ける。	継続
文化を育てる舞台づくり	2-1-3	文化資源の発掘、保存、活用	地域の宝の発掘、ゆかりの人物などの顕彰	歴史・文化遺産めぐりの実施	教育センター	歴史史跡探訪	高齢者大学の生徒に対し、市内の史跡めぐりの授業を提供する。	市内の史跡を再確認し、関心を持ってもらう。	毎年、各学年ごとに1カ所の「町並探訪」のカリキュラムを組み込み、学生への市内の史跡巡りの講座を実施した。	A	町並探訪で学んだ知識を、地域や次世代へ受継ぐことができる講座を実施すること。	今後も町並探訪のカリキュラムを継続し、学生に対して市内の史跡を再確認し、関心を持ってもらう。	継続

基本目標	番号	基本施策	施策の方向	施策番号	担当課(主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を育てる舞台づくり	2-1-3	文化資源の発掘、保存、活用	地域の宝の発掘、ゆかりの人物などの顕彰	歴史・文化遺産めぐりの実施	生涯学習課	申義堂、旧入江家の活用	高砂市に保存継承されてきた文化財建造物を維持管理するとともに、一般公開し、関連する講演会・展示活動等を行う。	指定文化財として保存を図るだけでなく、公開等の活用を通じて、文化財保護を市民に周知・啓発する。	公開施設である申義堂は、25年度2,722人、26年度4,404人、27年度3,848人、28年度2,124人の見学者があった。修理工事が必要である旧入江家住宅は、28年度に基本設計を作成し、修理方針や期間・概算経費等を把握した。	A	申義堂は、暫時的に見学者数が減少している。旧入江家住宅は、公開に向けた保存修理工事を実施する必要がある。	申義堂は、定期的な利用者を増大や臨時的活用を促すための周知が必要である。旧入江家住宅は、県教委と協議しながら修理工事の実施に向けて計画的に推進するとともに、地域住民等による臨時活用を図り、修理後の公開活用に向けた課題を抽出する。	継続
文化を育てる舞台づくり	2-1-4	文化資源の発掘、保存、活用	地域の宝の発掘、ゆかりの人物などの顕彰	「ふるさと高砂学」の学習	学校教育課	「ふるさと高砂学」における高砂ゆかりの人物の学習	教師用資料集「ふるさと高砂学」を参考に、社会科の時間を中心に学習する。	教師用資料集「ふるさと高砂学」を参考に、社会や総合的な学習の時間を中心に学習し、関心を高める。	「ふるさと高砂学」における高砂ゆかりの人物の学習をすることが、ふるさと高砂を愛する心を育てる一助になった。	A	特になし	教師用資料集「ふるさと高砂学」を参考に、社会や総合的な学習の時間を中心に学習し、関心を高める。	継続
文化を育てる舞台づくり	2-1-5	文化資源の発掘、保存、活用	地域の宝の発掘、ゆかりの人物などの顕彰	高砂ゆかりの人物の記念事業の開催	文化スポーツ課	高砂ゆかりの人物の生誕・没後記念事業	高砂ゆかりの人物の顕彰事業を実施する。	市や団体が事業等を実施することにより、ゆかりの人物やその功績を周知する。	高砂学の講座編や活動編において、高砂ゆかりの人物を多数紹介した。また、団体が実施する事業の支援を行った。高砂ゆかりの人物を顕彰していくことにより、ふるさとの高さを再発見することができた。	A	特になし	高砂ゆかりの人物を顕彰していくことにより、ふるさとの高さを再発見し、誇りをもてるようにする。	継続
文化を育てる舞台づくり	2-1-5	文化資源の発掘、保存、活用	地域の宝の発掘、ゆかりの人物などの顕彰	高砂ゆかりの人物の記念事業の開催	総務課	電話待受BGM	庁内電話の待受音を「月の沙漠」にする。	ゆかりの人物である「佐々木すぐる」の啓発	目標どおり実施し、佐々木すぐる氏の顕彰に寄与した。	A	特になし	事業を継続する。	継続
文化を育てる舞台づくり	2-1-5	文化資源の発掘、保存、活用	地域の宝の発掘、ゆかりの人物などの顕彰	高砂ゆかりの人物の記念事業の開催	総務課	庁内BGM	昼休み時間に「月の沙漠」などの童謡をBGMで流す。	ゆかりの人物である「佐々木すぐる」の啓発	目標どおり実施し、佐々木すぐる氏の顕彰に寄与した。	A	特になし	事業を継続する。	継続



基本目標	番号	基本施策	施策の方向	施策番号	担当課(主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を育てる舞台づくり	2-1-5	文化資源の発掘、保存、活用	地域の宝の発掘、ゆかりの人物などの顕彰	高砂ゆかりの人物の記念事業の開催	青少年センター	子ども見守り放送	小学生低学年児童の下校時間に合わせて、月の沙漠のメロディを防災行政無線で放送し、見守り活動時刻を知らせる。	児童の見守り活動時刻を知らせるとともに、本市出身の佐々木すぐる氏を顕彰する。	月の沙漠のメロディが流れると、14時30分になったとの認識が、市民に定着してきている。	A	14時30分になると防災行政無線から月の沙漠のメロディが流れるとの認識は市民に深まったが、小学校低学年の下校に関する見守り放送であるとの認識がどれほどかは疑問がのこるところです。	見守り活動に参加してもらえるよう、機会をとらえ啓発を行う。	継続
文化を育てる舞台づくり	2-2-1	文化資源の発掘、保存、活用	文化に関わる資源の普及	歴史的資料の収集、保存、整理	生涯学習課	市史に関する歴史的資料の収集、保存、整理	現存する歴史的資料の調査・収集を行い、それらの保存整理を行う。	市史刊行にあたり収集した資料を、刊行後、活用できるように整理する。	29年度から、市史編さん業務を生涯学習課へ移管した。28年度から3か年度計画で工学家文書調査を市史編さん専門委員会に委託して実施している。	C	過去に収集した史資料の一部が未整理で、移管後も着手できていない。	新たな史料の調査や過去の史資料の整理作業実施に向けて、体制整備や保管環境の改善等を検討する。	改善
文化を育てる舞台づくり	2-2-2	文化資源の発掘、保存、活用	文化に関わる資源の普及	高砂市史編さん事業の推進	生涯学習課	高砂市史刊行事業	現在刊行中の高砂市史のうち第七巻の刊行をする。	市の歴史を正しく紐解き内外に発信していくため、市史を計画的に刊行する。	27年度に市史全7巻を刊行し、29年度から図書館名誉館長講座で、市史を読む会を開始する計画である。	B	市史の販売促進に向けた周知や活用の取組みが必要である。	体制整備や市史活用の取組みを検討する。	改善
文化を育てる舞台づくり	2-2-3	文化資源の発掘、保存、活用	文化に関わる資源の普及	竜山石を利用した文化財の標柱の設置	生涯学習課	市指定文化財案内板	市指定の建造物・史跡の周知を図るため、案内板を設置する。	標柱(案内板)を設置することにより、市指定文化財の周知を行い、後世へ継承する。	25年度以降新指定に伴う案内板の設置は0件であった。	A	特記事項なし。	新指定があれば説明板の設置を継続する。	継続
文化を育てる舞台づくり	2-2-3	文化資源の発掘、保存、活用	文化に関わる資源の普及	竜山石を利用した文化財の標柱の設置	文化スポーツ課	ふるさと文化財案内板(標柱)	ふるさと文化財として登録された財産について、竜山石製の標柱(案内板)を設置する。また、案内板の周知を行う。	標柱(案内板)により、ふるさと文化財の周知を行い、後世へ継承する。	ふるさと文化財として登録された財産について、竜山石製の標柱(案内板)を合計8箇所設置した。ホームページで標柱設置についてPRした。	A	特になし	標柱(案内板)により、ふるさと文化財の周知を行い、後世へ継承する。	継続
文化を育てる舞台づくり	2-2-3	文化資源の発掘、保存、活用	文化に関わる資源の普及	竜山石を利用した文化財の標柱の設置	都市政策課	高砂町サイン	高砂町内に竜山石を使用した案内板を設置する。	案内板(サイン)を設置することにより、歴史、文化の周知を行い、後世へ継承する。	高砂みなとまちづくり構想行動計画において、高砂町の史跡、旧跡等にサインを24基設置する計画をし、平成28年度に完了した。	A	特になし。	平成28年度に完了。	廃止

基本目標	番号	基本 施策	施策の 方向	施策 番号	担当課 (主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を 育てる 舞台づ くり	2-2-4	文化資源 の発掘、保 存、活用	文化に関わ る資源の普 及	文化財施 設の活用	都市政策課	高砂町景観地 区指定	県条例に基づ き、景観形成地 区指定を行う。	景観まちづくり を推進する。	景観まちづくりを推進し、景観 の形成等に関する条例による 届出業務を行っている。	A	特になし。	引続き景観まちづくりを 推進する。	継続
	2-2-5					2-1-3							
文化を 育てる 舞台づ くり	2-2-6	文化資源 の発掘、保 存、活用	文化に関わ る資源の普 及	文化資源を 活用したイ ベントの実 施	文化スポー ツ課 (スポーツク ラブ21)	ウォーキング マップの活用	ウォーキング マップを活用 し、交流ウォー キングを実施 する。	交流ウォーキン グにおいて、 ウォーキング マップを活用す ることにより、 歴史的遺産を 紹介する。	25、27、28年度にスポーツクラ ブ21においてウォーキング マップを活用し、歴史的遺産を 紹介することができた。(26年 度は雨天により中止)	A	特になし	スポーツクラブのウォー キングの際に、ウォー キングマップを活用して いく。	継続
文化を 育てる 舞台づ くり	2-2-6	文化資源 の発掘、保 存、活用	文化に関わ る資源の普 及	文化資源を 活用したイ ベントの実 施	都市政策課	あらい浜風公 園夕陽の写真 展	夕陽の写真展 を実施する。	夕陽の写真を 募集し、あらい 浜風公園のPR を図る。	あらい浜風公園の完成に伴い PRを図るため、平成19年から 平成28年まで毎年1回「夕陽 の写真展」を実施した。	A	特になし。	PRが図られ周知された ため、平成28年度に終 了。	廃止
文化を 育てる 舞台づ くり	2-2-7	文化資源 の発掘、保 存、活用	文化に関わ る資源の普 及	文化資源 (石の宝 殿・竜山石 切場)の保 存、活用	生涯学習課	文化資源(石の 宝殿・竜山石 切場)の保存、活 用	史跡保存活用 計画に基づ き、文化財の 保存活用を図 るため、整備計 画を策定する。	市内唯一の国 史跡で、石の文 化の中心である 「石の宝殿及び 竜山石採石 遺跡」の、文化 財保護を図る。	26年10月に国史跡指定、27・ 28年度にかけて史跡保存活 用計画を策定し、29年度に史 跡整備計画を策定する予定 で、その後史跡整備工事を実 施する計画である。	S	国史跡の確実な保存 措置と、活用に向けた 周知、来訪者に史跡の 価値に対する理解を促 進するための史跡整 備を行う必要がある。	史跡整備工事実施に向 けて、史跡整備計画を 策定後、工事実施設計 にもとづき、史跡の保存 と活用を推進する。	継続
文化を 育てる 舞台づ くり	2-2-7	文化資源 の発掘、保 存、活用	文化に関わ る資源の普 及	文化資源 (石の宝 殿・竜山石 切場)の保 存、活用	生涯学習課	工業松右衛門 旧宅保存整備 事業	市指定史跡の 工業松右衛門 旧宅を保存整 備するための 改修を行う。	市指定史跡を 構成する要素 の建築物を保 全する。	27年度に寄附・市史跡指定、 28年度から29年度にかけて整 備工事を実施し、30年度に公 開する予定である。	A	公開活用の方針が定 まっていない。	庁内関係部局と連携 し、公開活用の方策や 管理運営の手法など の方針を定める。	継続

基本目標	番号	基本施策	施策の方向	施策番号	担当課(主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を育てる舞台づくり	2-2-7	文化資源の発掘、保存、活用	文化に関わる資源の普及	文化資源(石の宝殿・竜山石切場)の保存、活用	産業振興課	日本三奇観光パートナーシップ	日本三奇観光パートナーシップ協定を締結した塩竈市、高砂市、高砂市の観光協会が連携し、観光PRを行う。	3観光協会が連携した取組を行うことにより日本三奇(宮城県塩竈市「四口の神釜」、宮崎県高原町「天之逆鋒」、高砂市「石乃寶殿」)をPRする。	平成26年7月1日、高砂市制記念日に観光振興と地域経済の発展を目的に3観光協会「日本三奇観光パートナーシップ」の協定を締結した。日本三奇パンフレット・ポスター・WEBサイトの作成や日本三奇をPRする物産展等の開催を支援した。(物産展来場者4,500名、各種イベント参加4件)日本三奇のPRが図れた。生石神社来場者が前年度比約16%増加した。	A	宮城県塩竈市「四口の神釜」、宮崎県高原町「天之逆鋒」はそれぞれの神社の御神体であるため、神社の協力が得にくい。3観光協会が連携した取組を実施しにくい。	日本三奇の3観光協会が連携してPRすることは難しいが、日本三奇の一つとして「石の宝殿」をPRしていく。	変更
文化を育てる舞台づくり	2-2-7	文化資源の発掘、保存、活用	文化に関わる資源の普及	文化資源(石の宝殿・竜山石切場)の保存、活用	文化スポーツ課	謡曲「高砂」のCD配付	市民課窓口において、婚姻届を提出した人に謡曲「高砂」のCDを配付する。	謡曲「高砂」を聴く機会を設けるとともに、高砂市が謡曲「高砂」ゆかりの地であることをPRする。	婚姻届を提出した人のほかに、美術展の入賞者、市役所新任職員、他市からの配布希望に応え、謡曲CDを配布した。	A	配布数の増加を図る。	謡曲「高砂」CDを配布し、高砂市がゆかりの地であることをPRしていく。	継続
文化を育てる舞台づくり	2-2-7	文化資源の発掘、保存、活用	文化に関わる資源の普及	文化資源(石の宝殿・竜山石切場)の保存、活用	消防(総務課)	高砂分署旧庁舎保存活用事業	高砂分署旧庁舎を水防倉庫に活用するとともに、文化観光資源として保存する。	高砂分署旧庁舎を水防倉庫に活用し、消防の歴史に触れながら、火災予防の普及啓発に努めるとともに、文化観光資源として保存、活用を図る。	昭和10年の建築当時に改修復元することで、国の文化財に登録することができた。平成28年4月開館後集客が思わしくなく、低迷が続いている。	B	消防の古い資機材等展示及び消防の歴史の資料を収集しているが思うように揃わないのが現状である。また、建物の位置が高砂町の南端にあることで最寄駅から遠いことから、集客に苦労している。	高砂消防会館のリーフレットを作成し、幅広く広報するとともに、火災予防の普及啓発に係るイベントを計画し、集客に努める。	継続
文化を育てる舞台づくり	2-2-8	文化資源の発掘、保存、活用	文化に関わる資源の普及	文化資源をめぐるまちなかの自主的なワークショップや市民会議の開催	文化スポーツ課(謡曲「高砂」普及委員会)	謡曲「高砂」普及委員会	・謡曲「高砂」の普及について協議する。 ・謡曲「高砂」のCDの制作、販売	謡曲「高砂」に親しみ、市民の「謡」として根付かせる礎を醸成する。	謡曲「高砂」普及委員会において、普及のための協議を行い、CDの製作・販売、たかさご万灯祭・観月能での謡曲発表会、謡曲大合唱を実施し、普及、啓発することができた。	A	たかさご万灯祭やたかさご観月能での謡曲大合唱が困難なため、新たな普及の方法を検討する必要がある。	謡曲「高砂」を普及させるための協議を続ける。	継続



基本目標	番号	基本 施策	施策の 方向	施策 番号	担当課 (主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を 育てる 舞台づくり	3-1-3	文化を基盤 に市民、団体等、市との連携	活動、発表 などの拡充	展示・活動 スペースの 活用	文化スポーツ課	文化会館展示 スペースの活用	展示スペース を活用し、作品 展示や高砂ゆ かりの人物の 紹介を行う。	空スペースを 作品展示等の スペースとして 有効活用する。	年間を通して展示場を活用することにより、市民の芸術活動の向上を図ることができた。	A	特になし	イベント等のPRや、文化団体の活動写真を掲載し、PRしていく。	継続
文化を 育てる 舞台づくり	3-1-3	文化を基盤 に市民、団体等、市との連携	活動、発表 などの拡充	展示・活動 スペースの 活用	各公民館	作品展示スペースの設置、 活用	各公民館で作品 を展示する。	作品展示により、 地域の人に 公民館グループ 活動の理解を 深め、交流を 図る。	各グループの作品展示により、公民館グループ内での交流は図れたが、地域への周知、交流は十分できていない。	B	地域への周知、地域との連携について取り組む必要がある。	公民館活動及び地域との連携を高めるために積極的な周知と活動内容の見直しを進める。	継続
文化を 育てる 舞台づくり	3-1-3	文化を基盤 に市民、団体等、市との連携	活動、発表 などの拡充	展示・活動 スペースの 活用	未来戦略推進室 (男女共同 参画センター)	男女共同参画 センターの活用	市民グループ (エッセイ グループ)の活動 支援及び場所 の提供を行う。	男女共同参画 センター市民 グループの育成 を推進する。	開催場所の提供を行うことにより、活発なグループ活動が行われ会員の増につながった。	A	毎月1回、開催場所の提供を行っているが、会議室の確保が難しい状況にある。	市民グループ(エッセイグループ)の活動支援及び場所の提供を行う。	継続
文化を 育てる 舞台づくり	3-1-4	文化を基盤 に市民、団体等、市との連携	活動、発表 などの拡充	新たな文化 拠点の発 掘、活用	文化スポーツ課	病院、福祉施設 の活用	各種文化関係 団体等の慰問 の調整をする。	活動団体の発表 の場を増やす。	活動団体の新たな発表する場を増やすことはできなかった。	B	各種文化関係団体の福祉施設への訪問はあったが、支援の問い合わせはなかった。	施設と情報交換する機会を設け、活動状況を把握する。	継続
文化を 育てる 舞台づくり	3-1-4	文化を基盤 に市民、団体等、市との連携	活動、発表 などの拡充	新たな文化 拠点の発 掘、活用	子育て支援室 (保育所)	県民交流広場 での作品展示	園児の制作した 作品や絵を 展示する。	身近なコミュニティ施設などを 文化活動の発表の場に有効 利用する。	園児たちの制作した作品や絵を、身近なコミュニティ施設などに展示し、保護者や地域の方たちに披露した。	A	特になし	公共施設、コミュニティ施設などに作品展示し、文化活動の発表の場として有効活用できた。	継続
文化を 育てる 舞台づくり	3-1-4	文化を基盤 に市民、団体等、市との連携	活動、発表 などの拡充	新たな文化 拠点の発 掘、活用	市民病院	院内コンサート	患者や家族を 対象に、職員 による院内 コンサートを実施 する。	患者やそのご 家族の方に癒 しを提供すること。	用意した座席数分の参加者があった。	A	年3回の実施目標に対し、通常業務の都合や、社会情勢により、実施を見送る場合があること。	患者やそのご家族の方に癒しを提供すること。	継続

基本目標	番号	基本施策	施策の方向	施策番号	担当課(主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を育てる舞台づくり	3-1-4	文化を基盤に市民、団体等、市との連携	活動、発表などの拡充	新たな文化拠点の発掘、活用	生涯学習課	申義堂、旧入江家、の活用(再掲2-1-3)	高砂市に保存継承されてきた文化財建造物を維持管理するとともに、一般公開し、関連する講演会・展示活動等を行う。	指定文化財として保存を図るだけでなく、公開等の活用を通じて、文化財保護を市民に周知・啓発する。	公開施設である申義堂は、25年度2,722人、26年度4,404人、27年度3,848人、28年度2,124人の見学者があった。修理工事が必要である旧入江家住宅は、28年度に基本設計を作成し、修理方針や期間・概算経費等を把握した。	A	申義堂は、暫時的に見学者数が減少している。旧入江家住宅は、公開に向けた保存修理工事を実施する必要がある。	申義堂は、定期的な利用者を増大や臨時的活用を促すための周知が必要である。旧入江家住宅は、県教委と協議しながら修理工事の実施に向けて計画的に推進するとともに、地域住民等による臨時活用を図り、修理後の公開活用に向けた課題を抽出する。	継続
文化を育てる舞台づくり	3-1-4	文化を基盤に市民、団体等、市との連携	活動、発表などの拡充	新たな文化拠点の発掘、活用	生涯学習課	図書館運営管理事業(再掲1-2-1)	高砂市立図書館名誉館長(歴史文化推進員)を配置し講演会等を実施する。	高砂市立図書館を活動拠点として歴史及び文化の振興又は啓発を促進する。	平成28年2月14日に開館した新図書館において、名誉館長による講座を28年度に24回計画したが、体調不良により平成28年12月末で名誉館長が退任されたため、14回の実施で、のべ608名の参加にとどまった。平成29年6月に後任の名誉館長が就任され、9月から講座を再開する。	B	講座が1年続かなかつたため、講座内容の検証ができず、市民ニーズが把握できていない。	名誉館長と協力して、名誉館長以外の講師を呼んで、人材育成ができるような講座にしたい。	継続
文化を育てる舞台づくり	3-1-4	文化を基盤に市民、団体等、市との連携	活動、発表などの拡充	新たな文化拠点の発掘、活用	文化スポーツ課	高砂市美術展(再掲3-1-2)	高砂市美術展を開催する。	文化作品を発表する場と、鑑賞する機会を設ける。	平成27、28年に開催し、合計で549作品の出品があり、3,544人が来場した。文化作品の発表、鑑賞の場を設けることができた。	A	当日の天候により出品作品数が左右する。	文化作品を発表する場と、鑑賞する機会を設けるとともに、他分野とのコラボを検討していく。	継続
文化を育てる舞台づくり	3-1-4	文化を基盤に市民、団体等、市との連携	活動、発表などの拡充	新たな文化拠点の発掘、活用	産業振興課	イベント時に企業の敷地や公共施設を活用	万灯祭等のイベント開催時に企業の敷地や県・市の公共施設を借り、実施する。	企業の敷地や県・市の公共施設を活用したイベント等の開催を支援する。	企業の施設や公共施設を活用したイベント等の開催を行うことができた。	A	企業の施設を活用したイベントはたかさご万灯祭だけである。	企業の敷地や県・市の公共施設を活用したイベント等の開催を支援する。	継続
文化を育てる舞台づくり	3-1-5	文化を基盤に市民、団体等、市との連携	活動、発表などの拡充	鑑賞・発表の場の充実	文化スポーツ課	行事開催時における各団体の紹介	行事のオープニング等で文化団体を紹介する。	文化団体の活動の周知を図る。	行事のオープニング等で文化団体の紹介をすることができた。	A	行事本来の目的が損なわれているという指摘があった。	文化団体の活動の周知を図る。	継続

基本目標	番号	基本施策	施策の方向	施策番号	担当課(主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を育てる舞台づくり	3-1-5	文化を基盤に市民、団体等、市との連携	活動、発表などの拡充	鑑賞・発表の場の充実	各公民館	公民館まつり	各公民館での登録グループの発表、作品展示を行う。	各公民館において登録グループの発表や作品展示により、グループ間並びに地域との交流を図る。	各公民館において、登録グループの発表や作品展示によりグループ間、並びに地域との交流を図った。	A	登録グループの減少と高齢化が進み、利用者が減少している。	公民館活動及び地域との連携を高めるために積極的な周知と活動内容の見直しを進める。	継続
	3-1-6					1-3-5							
文化を育てる舞台づくり	3-1-7	文化を基盤に市民、団体等、市との連携	活動、発表などの拡充	講座・教室の開催	中央公民館	市民教養講座(再掲1-1-1)	市民対象に8回の講座を開催する。	諸問題を色々な分野を通して複合的に学習し、各人の生活課題の解決に役立てる。	地域の歴史や生活での諸問題など、様々な分野でのテーマで講座を開催した。	B	参加数が募集定員の半数にも満たない講座も多く、講座開設の周知、市民が望む総合的な学習に役立つ講座内容について、情報を収集する必要がある。	地域課題についてのリサーチと、講座の周知について取り組む。	継続
文化を育てる舞台づくり	3-1-7	文化を基盤に市民、団体等、市との連携	活動、発表などの拡充	講座・教室の開催	教育センター	高齢者大学での講座(再掲1-1-1)	高齢者を対象に生涯学習の場を提供するとともに、高砂市の歴史や伝統文化を学習する講座を設ける。	高齢者の学習要求にこたえ、健康の増進、教養及び生活文化、生きがいの向上を図る。	カリキュラムにおいて、高砂市の歴史や文化に係る講座を年に10回以上実施することができ、学生に対する高砂市の伝統文化や生活文化への関心の向上を図ることができた。	A	カリキュラムがマンネリ化しないよう、新しい講師やテーマを追求することが求められる。	今後も学生のニーズにこたえながら、歴史や文化に係る講座を実施していく。	継続
文化を育てる舞台づくり	3-1-7	文化を基盤に市民、団体等、市との連携	活動、発表などの拡充	講座・教室の開催	美化センター	リサイクル啓発講座	「サンドブラスト教室」や「ステンドグラス教室」等を開催する。	各種体験学習・工房に参加・体験することを通じて、ごみ減量化・再資源化に対する意識の向上を図る。	毎年リサイクル啓発講座を開催した。講座参加者に対しては、ごみ減量化・再資源化に対する意識の向上が図れたが、定員に対して参加者の少ない講座もあった。	B	リサイクル啓発講座は美化センター内リサイクルプラザで行っており、基本的に夏休みのみ開催していた。各種体験学習に使える器具等が揃っているリサイクルプラザがその期間以外使用していなかったため、有効活用することが課題となっていた。	平成29年度から平成33年度は広域ごみ処理施設建設のため、講座を行う場所や機材がないので休止している。平成34年度以降は広域ごみ処理施設の運用事業者と協議して新たな内容でリサイクル啓発講座を検討する。	一時休止 ※平成29年度から33年度は広域ごみ処理施設建設のため休止する。平成34年度以降については今後検討予定。
文化を育てる舞台づくり	3-1-8	文化を基盤に市民、団体等、市との連携	活動、発表などの拡充	多様な活動団体が集まるイベントの開催	産業振興課(たかさご万灯祭実行委員会)	たかさご万灯祭	歴史的景観形成地区に指定された高砂町をキャンドル等の灯りやジャズで演出し、高砂町の景観をPRする。	高砂町の景観をPRすることにより、まちの活性化を図る。	高砂町をキャンドル等の灯りやジャズで演出し、高砂町の景観をPRでき、町の活性化が図れた。来場者数は年々増えている。	A	たかさご万灯祭の事業内容の見直しが必要である。	今後も歴史的景観形成地区に指定された高砂町において、たかさご万灯祭を開催し、高砂町の景観をPRしていく。	継続

基本目標	番号	基本施策	施策の方向	施策番号	担当課(主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を育てる舞台づくり	3-1-8	文化を基盤に市民、団体等、市との連携	活動、発表などの拡充	多様な活動団体が集まるイベントの開催	産業振興課 都市政策課	SEA SONIC	平成28年度は実施を見送り、平成29年春の開催を目指す。	あらい浜風公園を若者音楽のメッカとなるよう推進する。	若者の音楽を中心とした音楽イベントの開催と同時に模擬店も出店し、多くの来場者があった。あらい浜風公園が若者音楽のメッカにまでは至っていない。	A	県補助が終了後は開催が難しい状況である。	事業内容を大幅に見直す必要があるため、事業を休止する。	廃止
文化を育てる舞台づくり	3-1-9	文化を基盤に市民、団体等、市との連携	活動、発表などの拡充	企業主催行事への参加	子育て支援室(保育所)	企業主催の芋掘り	保・幼・小・児童学園が合同で、芋の苗植えや収穫を体験する。	地域企業とタイアップした行事を通じて文化活動を推進する。	地元企業主催の体験事業(芋ほり)に参加し、苗付けから収穫を体験した。	A	特になし	地域企業と協力した行事を実施するすることで、交流活動や食育につながった。	継続
文化を育てる舞台づくり	3-1-9	文化を基盤に市民、団体等、市との連携	活動、発表などの拡充	企業主催行事への参加	学校教育課	企業主催行事への参加	保・幼・小・児童学園が、芋の苗植えや収穫をなど様々なイベントを体験する。	地域企業とタイアップした行事を通じて文化活動を推進する。	地元企業主催の体験事業(芋ほり)に参加し、苗付けから収穫を体験した。	A	特になし	地域企業と協力した行事を実施するすることで、交流活動や食育につながった。	継続
文化を育てる舞台づくり	3-1-10	文化を基盤に市民、団体等、市との連携	活動、発表などの拡充	活動・発表場所の調査、紹介	文化スポーツ課 各公民館	活動・発表場所の紹介	市内の文化施設や公民館など、活動・発表の場の紹介をする。	市内の文化施設や公民館など、活動・発表の場の紹介をし、周知の機会を提供する。	文化会館、文化保健センター、各公民館の紹介をすることができた。	A	特になし	市内の文化施設や公民館など、活動・発表の場の紹介をし、周知の機会を提供していく。	継続
文化を育てる舞台づくり	3-1-10	文化を基盤に市民、団体等、市との連携	活動、発表などの拡充	活動・発表場所の調査、紹介	文化スポーツ課	市民ギャラリーの紹介	市民ギャラリー等、展示場所の調査、紹介を行う。	文化施設やギャラリーなど、活動・発表の場の紹介をし、活動・発表の場を広げる。	市民ギャラリーの紹介はできたが、新たに調査をすることができなかった。	B	特になし	新たな活動・発表場所の調査に努める。	継続
文化を育てる舞台づくり	3-2-1	文化を基盤に市民、団体等、市との連携	文化情報の収集、発信	広報たかさご、市ホームページへの掲載	文化スポーツ課	広報たかさごへの掲載	イベント案内や活動報告(写真掲載)を行う。	イベント案内等、情報提供することにより、情報の周知を図り、多くの参加者を募る。	平成25年から28年で161件の情報を広報たかさごに掲載した。多くの人にイベント案内や活動報告を行った。	A	特になし	広報、ホームページ、Facebookにより情報発信していく。	継続
文化を育てる舞台づくり	3-2-1	文化を基盤に市民、団体等、市との連携	文化情報の収集、発信	広報たかさご、市ホームページへの掲載	文化スポーツ課	ホームページへの掲載	イベント案内や活動報告(写真掲載)を行う。	イベント案内等、情報提供することにより、情報の周知を図り、多くの参加者を募る。	平成25年から28年で119件の情報をホームページに掲載した。多くの人にイベント案内や活動報告を行った。	A	特になし	広報、ホームページ、Facebookにより情報発信していく。	継続



基本目標	番号	基本 施策	施策の 方向	施策 番号	担当課 (主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を 育てる 舞台づくり	3-2-1	文化を基盤 に市民、団 体等、市と の連携	文化情報 の収集、発 信	広報たかさ ご、市ホー ムページへ の掲載	広報広聴担 当	情報発信の充 実	イベント案内や 活動報告(写真 掲載)を行う。	イベント案内 等、情報提供 することによ り、情報の周知 を図り、多くの 参加者を募る。	毎日、フェイスブックへ最新の 情報を発信した。また、イベン ト案内などの発信により多くの 参加者を募った。	A	同じような内容になり がちで、新鮮味が足り ない。	広報職員からの記事以 外を募集するなど、新し い目線での記事も投稿 していく。	継続
文化を 育てる 舞台づくり	3-2-2	文化を基盤 に市民、団 体等、市と の連携	文化情報 の収集、発 信	各団体等 のホーム ページの運 営	文化スポー ツ課 (国際交 流)	ホームページ の開設、運営	国際交流協会 の活動状況や イベント情報を 掲載する。	国際交流の活 動状況やイベ ント情報の周知 を図る。	イベント情報を掲載すること により参加者が増えた。	A	特になし	他市町とも連携を図り、 国際交流の活動状況や イベント情報の周知を 図る。	継続
文化を 育てる 舞台づくり	3-2-3	文化を基盤 に市民、団 体等、市と の連携	文化情報 の収集、発 信	各新聞社、 テレビなど への情報提 供	文化スポー ツ課	各新聞社、BA NBANテレビ 等への情報提 供	イベント案内 等、情報提供 することによ り、情報の周知 を図り、多くの 参加者を募る。	イベント案内 等、情報提供 することによ り、情報の周知 を図り、多くの 参加者を募る。	広報に掲載する情報を新聞 社、テレビへ情報提供した。	A	特になし	イベント案内等、情報提 供することにより、情報 の周知を図り、多くの参 加者を募る。	継続
文化を 育てる 舞台づくり	3-2-4	文化を基盤 に市民、団 体等、市と の連携	文化情報 の収集、発 信	文化活動に 関するポス ター等の展 示、チラシ の配布	文化スポー ツ課	ポスター等の 展示、チラシ の配布	各施設でポス ター展示、関係 団体等へのチ ラシ配布を行 う。	イベント案内 等、情報提供 することによ り、情報の周知 を図り、多くの 参加者を募る。	ポスター展示やチラシ配布を 行った。	A	特になし	イベント案内等、情報提 供することにより、情報 の周知を図り、多くの参 加者を募る。	継続
文化を 育てる 舞台づくり	3-2-4	文化を基盤 に市民、団 体等、市と の連携	文化情報 の収集、発 信	文化活動に 関するポス ター等の展 示、チラシ の配布	文化スポー ツ課	高砂市に関 する資料の発行、 配布	高砂市に関 する文化情報等 の配付を行う。	高砂市に関 する資料の発行 や配付を行うこ とにより、高砂 市の文化につ いて周知する。	市内の有志が作成した高砂市 に関する文化資料を、HPやイ ベント等で周知した。	A	特になし	チラシの配布や告知に より、高砂の文化を発 信していく。	継続
文化を 育てる 舞台づくり	3-2-5	文化を基盤 に市民、団 体等、市と の連携	文化情報 の収集、発 信	リーフレッ ト、地図の 作成、発行	文化スポー ツ課 (国際交 流)	国際交流通信	イベントの報告 やお知らせの 冊子を作成し、 協会会員や市 内関係各所に 配布する。	通信を通じて、 国際交流協会 の活動状況を 知ってもらおう。	年4回通信を発行し、国際交 流協会の活動状況を知らせる ことができた。	A	特になし	通信の内容を工夫し、 国際交流協会の活動状 況を知ってもらおう。	継続

基本目標	番号	基本施策	施策の方向	施策番号	担当課(主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を育てる舞台づくり	3-2-5	文化を基盤に市民、団体等、市との連携	文化情報の収集、発信	リーフレット、地図の作成、発行	産業振興課(観光協会)	たかさごの観詰	各種イベント情報や店舗情報を掲載し、市外を中心にPRをする。	高砂市の情報を市内外に発信することにより高砂市をPRする。	観光協会と連携し、情報誌を発行し、県内道の駅、山陽沿線駅などに設置することにより、市内の情報を市内外に広く発信できた。	A	情報誌への掲載内容を見直す必要がある。	掲載内容等を見直し、年1回程度は発行していく。	変更
文化を育てる舞台づくり	3-2-5	文化を基盤に市民、団体等、市との連携	文化情報の収集、発信	リーフレット、地図の作成、発行	都市政策課	みなとまちづくり瓦版	瓦版を発行し、みなとまちづくりに係る活動等をPRする。	みなとまちづくり瓦版を発行し、活動等をPRする。	高砂みなとまちづくり構想行動計画に基づく、さまざまな活動・取り組み等をPRするため、平成19年度から平成28年度まで毎年1回瓦版(広報紙)を発行し全戸配布、市のホームページに掲載し、PRを図っている。	A	市民、各団体等へのPRの仕方。	引続き瓦版を発行し、活動等をPRする。	継続
文化を育てる舞台づくり	3-2-5	文化を基盤に市民、団体等、市との連携	文化情報の収集、発信	リーフレット、地図の作成、発行	都市政策課	高砂堀川再発見地図	再発見地図を発行し、みなとまちづくりに係る活動等をPRする。	再発見地図を配布し、活動等をPRする。	高砂堀川周辺の散策マップ「高砂堀川再発見地図」の配布、市ホームページに掲載し、PR等を図っている。	A	市民、各団体等へのPRの仕方。	引続き再発見地図の配布等を行い、PRする。	継続
	3-2-6					3-1-10							
文化を育てる舞台づくり	3-2-7	文化を基盤に市民、団体等、市との連携	文化情報の収集、発信	文化活動団体等の調査、情報収集	文化スポーツ課	活動団体(個人)の情報収集	各種イベント等とおして、文化に関する団体(個人)の情報収集を行う。	文化に関する団体(個人)の情報収集を行い、行政の行うイベント等に新たなアイデア等を取り入れる。	新聞やインターネットなどで、文化に関する情報を収集した。	A	特になし	新聞やインターネットなど文化活動の情報を収集していく。	継続
文化を育てる舞台づくり	3-2-8	文化を基盤に市民、団体等、市との連携	文化情報の収集、発信	イベント等の情報収集、情報交換	生涯学習課	郷土学習に関わる団体との情報交換	郷土史研究等を活動内容とする市民団体や市民が、主体となって相互に情報交換や発表できる場を設けることができるよう、よびかける。	市民・各団体の情報交流の場ができれば、厚みのある市民活動の推進につながる。	各市民団体と連携し情報交換は行っているが、団体間の情報交換の場や発表の場を設けることができていない。	C	各団体の自主的な活動を側面支援しているだけで、団体間をつなぐ取組みは着手していない。	関連部局と協議し改善策を講じる。	改善
文化を育てる舞台づくり	3-3-1	文化を基盤に市民、団体等、市との連携	文化を中心とした行政施策の推進・連携	各種団体等の連絡会議の開催	文化スポーツ課	各種団体等の連絡会議	各種文化関係団体等の会議の実施や行政との連絡調整等を行う。	各種文化関係団体等を行う文化活動への支援や協力・連携を図る。	各種団体が開催するイベントに向けて主催団体が実施する会議等に参加し、支援や協力を行った。	A	特になし	各種文化関係団体等を行う文化活動への支援や協力・連携を図る。	変更・改善

基本目標	番号	基本 施策	施策の 方向	施策 番号	担当課 (主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を 育てる 舞台づ くり	3-3-1	文化を基盤 に市民、団 体等、市と の連携	文化を中心 とした行政 施策の推 進・連携	各種団体 等の連絡 会議の開 催	文化スポ ーツ課	高砂市文化振 興審議会	文化振興基本 方針の検討と 見直しを行う。	文化振興実施 計画等、基本 方針に付随す る事項につ いて調査審議 する。	文化振興審議会を開催し、進 捗管理と次年度の実施事業 の検討を行った。	A	特になし	実施計画等、基本方針 に付随する事項につ いて、さらに調査審議を重 ねる。	継続
文化を 育てる 舞台づ くり	3-3-1	文化を基盤 に市民、団 体等、市と の連携	文化を中心 とした行政 施策の推 進・連携	各種団体 等の連絡 会議の開 催	生涯学習課	文化財審議委 員会 (再掲1-2-1)	市文化財保護 条例に基づき、 文化財の指 定、保存及び 活用について 審議する。	文化財の保護 を図る。	文化財の保存と活用につ いて、専門的見地から審議いた だいている。	A	委員の高齢化が進ん でおり、各専門分野の 後継者選任について 検討する必要がある。	文化財の保存にとどま らず、多様な活用策や まちづくりにつながる取 組み等を審議事項とし て挙げることを検討す る。	継続
文化を 育てる 舞台づ くり	3-3-2	文化を基盤 に市民、団 体等、市と の連携	文化を中心 とした行政 施策の推 進・連携	文化に関す る事業への 補助、支援	文化スポ ーツ課	文化連盟等へ の補助金	文化まつりとし て、文化連盟及 び加盟団体が 行う事業に対 し、補助金を交 付する。	各文化活動を 支援すること により、文化振興 を図る。	各文化活動を支援すること により、文化振興を図ることが できた。	A	特になし	各文化活動を支援する ことにより、文化振興を 図る。	継続
文化を 育てる 舞台づ くり	3-3-2	文化を基盤 に市民、団 体等、市と の連携	文化を中心 とした行政 施策の推 進・連携	文化に関す る事業への 補助、支援	文化スポ ーツ課 (文化会 館)	文化会館、文 化保健センター の優先利用及 び利用料金の 減免	・文化まつり事 業については、 優先利用、利 用料金の減免 をする。 ・文化連盟加盟 団体の行う事 業は、利用料 金の減免をす る。	優先利用、利 用料金の減免 により、文化活 動を行う団体を 支援する。	各文化活動を支援すること により、文化振興を図ることが できた。	A	特になし	各文化活動を支援する ことにより、文化振興を 図る。	継続
文化を 育てる 舞台づ くり	3-3-2	文化を基盤 に市民、団 体等、市と の連携	文化を中心 とした行政 施策の推 進・連携	文化に関す る事業への 補助、支援	市民活動推 進課	市民提案型地 域協働推進事 業「夢のシロ」 補助金	市民が主体 的、自主的に 行う公益活動 に対し補助金を 交付する。	市民の個性を 活かす市民参 画都市高砂を めざし、市民 の豊かな発想 による魅力的な まちづくりを推 進するとともに、 市民活動のさら なる活性化と地 域力の向上を 図る。	平成25年度・・・3事業 平成26年度・・・6事業 平成27年度・・・3事業 平成28年度・・・5事業 平成29年度・・・3事業 が採択され、補助金が交付さ れた。 毎年、コンスタントに応募があ り、市民活動団体と行政が協 働する事で、市民活動のさら なる活性化、地域力の向上に 寄与していると言える。	A	「夢のシロ」事業自体 の知名度がまだ低いよ うに思える。 更なる周知を行い、応 募数の増加に繋げる 事が今後の課題。	市としては、既存の市 民活動事業だけでなく 新規事業の応募が欲し いところである。 「夢のシロ」事業自体の 広い周知を図るため、 新たに事業の概要を記 した告知チラシを毎年、 配布する予定。	継続

基本目標	番号	基本 施策	施策の 方向	施策 番号	担当課 (主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を 育てる 舞台づくり	3-3-2	文化を基盤 に市民、団 体等、市と の連携	文化を中心 とした行政 施策の推 進・連携	文化に関す る事業への 補助、支援	資産税課	文化財の固定 資産税及び都 市計画税の減 免	文化財に指定 された建築物 の税を減免す る。	税の減免により 文化財の保護 活動を支援す る。	該当なし。	-	-	継続	継続
文化を 育てる 舞台づくり	3-3-2	文化を基盤 に市民、団 体等、市と の連携	文化を中心 とした行政 施策の推 進・連携	文化に関す る事業への 補助、支援	各公民館	公民館使用料 の減免	公民館登録グ ループ、学校等 の使用料を減 免する。	使用料を減免 することによ り、各使用団体 の負担軽減を 図り、利用の促 進をする。	使用料を減免することにより、 各使用団体の負担軽減を図り、 利用促進を図った。	A	使用料減免の周知を 図ることにより、利用者 の拡大を図る	使用料の減免だけでなく、 新たな活動支援を考 える	継続
文化を 育てる 舞台づくり	3-3-2	文化を基盤 に市民、団 体等、市と の連携	文化を中心 とした行政 施策の推 進・連携	文化に関す る事業への 補助、支援	生涯学習課 (文化遺産 活用観光振 興・地域活 性化事業実 行委員会)	文化遺産を活 かした地域活 性化事業	地域の文化 遺産を活用し、地 域活性化を図 る。市民主体 の活動を支援す る。	伝統的な文化 遺産を生かした 地域活性化を 図る。文化庁補助事 業	25年度は26団体、26年度は26 団体、27年度は30団体、28年 度は34団体、29年団体は20団 体が、事業採択を受け、祭礼 用具の修繕や新調を行い、地 域の伝統文化振興を推進して いる。	A	文化庁補助事業制度 に執行管理面で変更 があり、事業の運用や 実施範囲に制限がか かるなど、各団体が苦 慮している。	文化庁や県教委からの 情報を各団体に提供 し、円滑な事業推進を 支援していく。	継続
文化を 育てる 舞台づくり	3-3-3	文化を基盤 に市民、団 体等、市と の連携	文化を中心 とした行政 施策の推 進・連携	後援申請 の案内、承 認	総務課	後援申請の案内、承認	活動団体のイ ベント等に対し て、後援申請の 案内及び承認 を行う。	学術、文化、ス ポーツ及び福 祉等に関する 事業を行う団体 に対し、市の後 援名義の使用 を承認すること によりその事業 を奨励し、学 術、文化及びス ポーツの振興 並びに福祉の 増進等に資す ることを目的と する。	申請に応じて審査を行い承認 を行った。後援名義を承認し た件数は以下のとおり 25年度 104件 26年度 156件 27年度 147件 28年度 135件 また、高砂市後援の名義使用 承認に関する事務取扱要綱を 策定したため一定の承認基準 を満たした事業に対し承認す ることができた。	- (活動団 体からの 申請に基 づくもの であり、 目標設定 できない ため非評 価)	特になし。	高砂市後援の名義使用 承認に関する事務取扱 要綱に基づき判断を行 い、承認する。	継続
文化を 育てる 舞台づくり	3-3-3	文化を基盤 に市民、団 体等、市と の連携	文化を中心 とした行政 施策の推 進・連携	後援申請 の案内、承 認	生涯学習課	後援申請の案内	活動団体のイ ベント等に対し て、後援申請の 案内及び承認 を行う。	市民の幅広い 参加教育行政 への寄与	毎年、400件前後の後援申請 を承認している。	A	承認の基準について、 市長部局とのすり合わ せが必要である。	イベント等の内容を精 査し、市民参加が望ま しいものには、できるだ け柔軟に承認していく。	継続
文化を 育てる 舞台づくり	3-3-3	文化を基盤 に市民、団 体等、市と の連携	文化を中心 とした行政 施策の推 進・連携	後援申請 の案内、承 認	文化スポー ツ課	後援申請の案内	活動団体のイ ベント等に対し て後援申請の 案内を行う。	申請方法や申 請場所を案内 することで、手 続きが円滑に 行えるようにす る。	後援申請の案内を行った。	A	特になし	申請方法や申請場所を 案内することで、手続き が円滑に行えるように する。	継続

基本目標	番号	基本 施策	施策の 方向	施策 番号	担当課 (主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を 育てる 舞台づ くり	3-3-4	文化を基盤 に市民、団 体等、市と の連携	文化を中心 とした行政 施策の推 進・連携	文化会館 等施設の 整備、充実	文化スポ ーツ課	文化会館・文化 保健センターの 施設整備	施設の整備を 行う。	文化に接する 場や練習、発 表の場を整備、 充実すること により、活動団 体を支援する。	市民の意見を取り入れた文化保 健センターの改修工事の計画を 行った。	A	特になし	施設の整備を行い、利 用の向上に努める。	継続
文化を 育てる 舞台づ くり	3-3-5	文化を基盤 に市民、団 体等、市と の連携	文化を中心 とした行政 施策の推 進・連携	指定管理 者等との連 携	文化スポ ーツ課 ほか	指定管理者と の連携	施設管理や実 施事業等につ いて連携を図 る。	施設管理や実 施事業等につ いて連携を図 る。	毎月会議を行い、施設管理や 実施事業について連絡、調整 ができた。	A	特になし	施設管理や実施事業等 について連携を図ること により、文化団体が活 動しやすい環境づくりや 多様な文化事業を展開 していく。	継続
文化を 育てる 舞台づ くり	3-3-5	文化を基盤 に市民、団 体等、市と の連携	文化を中心 とした行政 施策の推 進・連携	指定管理 者等との連 携	文化スポ ーツ課 ほか	公益財団法人 高砂市施設利 用振興財団と の連携	施設管理や実 施事業等につ いて連携を図 る。	施設管理や実 施事業等につ いて連携を図 る。	団体同士の協働、連携が行われ た。	A	特になし	市内外の団体同士の協 働、連携を支援していく。	継続
文化を 育てる 舞台づ くり	3-3-6	文化を基盤 に市民、団 体等、市と の連携	文化を中心 とした行政 施策の推 進・連携	企業との連 携	文化スポ ーツ課	企業との連携	実施事業につ いて、協力、連 携を図る。	企業との連携 を支援し、文化 活動を通して地 域の活性化を図 る。	合唱連盟と共にウィーン少年 合唱団の公演について、企業 と協議し開催した。 財団、剣道連盟、美術協会が 連携し、武蔵・伊織児童絵画・ 書道展を行った。	A	新たな企業との連携が 困難である。	文化事業について、企 業との協力、連携が図 れる事業を検討する。	継続
文化を 育てる 舞台づ くり	3-3-6	文化を基盤 に市民、団 体等、市と の連携	文化を中心 とした行政 施策の推 進・連携	企業との連 携	産業振興課	企業との連携	実施事業につ いて、協力、連 携を図る。	たかさご万灯祭 等地元行事実 施時に企業と の連携を図る。	たかさご万灯祭において、カ ネカ、三菱製紙、但陽信用金 庫等地元企業が参加し、地元 企業との連携が図れた。	A	地元企業との連携がた かさご万灯祭等イベ ントのみである。	今後またかさご万灯祭 において地元企業との 連携を図るとともに、連 携が図れる事業を検討 する。	継続
文化を 育てる 舞台づ くり	3-3-7	文化を基盤 に市民、団 体等、市と の連携	文化を中心 とした行政 施策の推 進・連携	指定文化 財の保護	生涯学習課	指定文化財の 保護	市文化財保護 条例により、市 内にある指定 文化財の保 存、継承、活用 に努め、郷土に 対する認識を 深める。	文化財保護法 にのっとり市内 に点在する文 化財の保存・整 備・活用を図 る。	工楽松右衛門旧宅の文化財 修理事業を28・29年度に実施 している。	A	未指定文化財の所在 情報や新指定に向け た所有者への周知な どが課題である。	指定候補物件のリス ト化や、未着手の文化財 分野の調査などを検討 する。	継続

基本目標	番号	基本施策	施策の方向	施策番号	担当課(主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を育てる舞台づくり	3-3-7	文化を基盤に市民、団体等、市との連携	文化を中心とした行政施策の推進・連携	指定文化財の保護	生涯学習課	工業松右衛門旧宅保存整備事業(再掲2-2-7)	市指定史跡の工業松右衛門旧宅を保存整備するための改修を行う。	市指定史跡を構成する要素の建築物を保全する。	27年度に寄附・市史跡指定、28年度から29年度にかけて整備工事を実施し、30年度に公開する予定である。	A	公開活用の方針が定まっていない。	庁内関係部局と連携し、公開活用の方策や管理運営の手法などの方針を定める。	継続
	3-3-8					2-1-1							
	3-3-9					2-1-2							
	3-3-10					2-2-8							
文化を想像する魅力づくり	4-1-1	文化交流の促進	魅力あるイベントの実施	新たな魅力あるイベントの開催	文化スポーツ課(文化会館)	文化会館での各種イベント	さまざまな分野のイベントを実施する。	多様な文化に触れる機会を提供する。	さまざまな分野の講座やイベントを実施した。	A	特になし	市外から訪れる人が魅力を感じるイベントの実施などの取組に努める。	継続
文化を想像する魅力づくり	4-1-1	文化交流の促進	魅力あるイベントの実施	新たな魅力あるイベントの開催	産業振興課(高砂市フィルムコミッション)	映画の魅力を伝える事業	他の事業等とジョイントするなど映画の魅力を伝える事業の検討・企画・実施	映画を通じて、ノスタルジックな風景が残る高砂市の町並みを紹介し、誘客に繋げるとともに地域の活性化を図る。	市制60周年を記念し、映画祭を開催した。全国から「愛」をテーマとした自主制作映画147作品の応募があり、その中から42作品を上映し、優秀作品(8作品)を表彰した。市内や近隣市町の物産展も同時開催したが、天候や日程等の影響やPR不足により来場者が少なかった。	B	他の事業等とジョイントするなど映画の魅力を伝える事業の検討・企画・実施に至っていない。	高砂市フィルムコミッションと連携し、映画の魅力を伝えるとともに高砂市の魅力を伝える事業を検討する。	変更
文化を想像する魅力づくり	4-1-2	文化交流の促進	魅力あるイベントの実施	角となるイベント(観月能・高砂万灯祭等)の開催	産業振興課(高砂観月能の会)	高砂観月能	高砂神社能舞台で実施し、謡曲「高砂」ゆかりの地をPRする。	高砂観月能開催を支援する。	高砂神社の新しい能舞台での高砂観月能開催を支援できた。来場者約1,000人多くの人が高砂観月能を鑑賞し、謡曲「高砂」ゆかりの地のPRが図れた。	A	開催支援の内容を検討する必要がある。	今後も観月能の開催を支援していく。	継続
文化を想像する魅力づくり	4-1-2	文化交流の促進	魅力あるイベントの実施	角となるイベント(観月能・高砂万灯祭等)の開催	産業振興課(たかさご万灯祭実行委員会)	たかさご万灯祭(再掲3-1-8)	歴史的景観形成地区に指定された高砂町をキャンドル等の灯りやジャズで演出し、高砂町の景観をPRする。	高砂町の景観をPRすることにより、まちの活性化を図る。	高砂町をキャンドル等の灯りやジャズで演出し、高砂町の景観をPRでき、町の活性化が図れた。来場者数は年々増えている。	A	たかさご万灯祭の事業内容の見直しが必要	今後も歴史的景観形成地区に指定された高砂町において、たかさご万灯祭を開催し、高砂町の景観をPRしていく。	継続

基本目標	番号	基本施策	施策の方向	施策番号	担当課(主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を想像する魅力づくり	4-1-3	文化交流の促進	魅力あるイベントの実施	文化団体のコラボレーションの促進	文化スポーツ課	文化団体のコラボレーション	さまざまな文化団体のコラボレーションの企画や団体間の調整を行う。	コラボレーションすることで、他団体との交流や新たな文化活動への発展を促す。また、多方面から高砂市を紹介する。	異なる分野や団体のコラボレーションにより、多様な文化や考えを受け入れ、交流することができた。	A	特になし	異なる分野や団体のコラボレーションなど、新たな魅力の向上に努める。 団体同士の連絡、調整の支援を行う。	継続
	4-1-4					2-1-5							
文化を想像する魅力づくり	4-2-1	文化交流の促進	国内外との文化交流	国内、県内の文化活動団体との交流の促進や活動の支援	文化スポーツ課(高砂市文化連盟・各実行委員会)	東播磨文化団体連合会事業	各大会に参加する。	東播磨の各団体と合同で大会を実施し、文化交流をすることにより、活動を広げ、深める。	東播磨の各団体と合同で事業を実施し、文化交流をすることができた。	A	特になし	国内、県内の各団体と文化交流をすることにより、活動を広げ、文化への理解や共感を深める。	継続
文化を想像する魅力づくり	4-2-2	文化交流の促進	国内外との文化交流	近隣や校内の都市との文化活動の交流	文化スポーツ課	宍粟市との交流	宍粟市が実施する事業について、「広報たかさご」に掲載、ポスター、チラシの配布を行う。	宍粟市が実施する事業を市民に知らせ、参加者を募る。	宍粟市が実施する事業を広報掲載やポスター・チラシの配布により市民に知らせ、参加者を募ることができた。	A	特になし	国内、県内の各団体と文化交流をすることにより、活動を広げ、文化への理解や共感を深める。	継続
	4-2-3					1-3-5							
文化を想像する魅力づくり	4-2-3	文化交流の促進	国内外との文化交流	外国との交流事の促進	文化スポーツ課(国際交流)	ラトローブ・デイ～国際交流バーベキュー～	日本人と在日外国人との交流バーベキューを行う。	バーベキューを通じて日本人と在日外国人との交流の場を提供し、多文化共生への関心を高める。	平成27、28年に開催し、合計で397人の参加者があった。バーベキューを通じて日本人と在日外国人との交流の場を提供できた。(平成25、26年は雨天のため中止)	A	特になし	多文化共生に関心を高めていく。	継続
文化を想像する魅力づくり	4-2-3	文化交流の促進	国内外との文化交流	外国との交流事の促進	文化スポーツ課(国際交流)	国際交流バス旅行	日本人と在日外国人のための1日バス旅行を実施する。	バス旅行を通して、在日外国人との交流の場を提供する。	219人の参加者があった。バス旅行を通して、在日外国人との交流の場を提供した。	A	特になし	バス旅行を通して、在日外国人との交流の場を提供する。	継続
文化を想像する魅力づくり	4-2-3	文化交流の促進	国内外との文化交流	外国との交流事の促進	文化スポーツ課(国際交流)	国際文化交流会(国際交流サロン)	外国籍の人と簡単な英語と日本語で毎回テーマを決めて会話する。	外国籍の人と会話することにより、相互の文化交流の機会を設ける。	平成25年から28年で589人の参加者があった。多くの人に相互の文化交流の機会を設けた。	A	特になし	外国籍の人と会話することにより、相互の文化交流の機会を設ける。	継続

基本目標	番号	基本施策	施策の方向	施策番号	担当課(主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を想像する魅力づくり	4-2-4	文化交流の促進	国内外との文化交流	外国語や外国文化を学ぶ教室、講座の開催	文化スポーツ課(国際交流)	日本語教室	在日外国人が日本語を学ぶ機会を設ける。	外国籍の人が日本で生活するために必要最低限度の日本語を習得する場を設ける。	毎週2回開催することができた。また、外国籍の人に対する防災対策ができた。	A	特になし	在日外国人が日本語を学ぶことができる機会を設ける。	継続
文化を想像する魅力づくり	4-2-4	文化交流の促進	国内外との文化交流	外国語や外国文化を学ぶ教室、講座の開催	文化スポーツ課(国際交流)	語学講座(韓国語・英会話・中国語)	日本人対象の語学講座	外国語とともに、外国の文化や歴史を学ぶ機会を設ける。	平成25年から28年で231人の参加者があった。多くの人に外国語や外国の歴史文化を学ぶ機会を設けることができた。	A	特になし	外国語とともに、外国の文化や歴史を学ぶ機会を設ける。	継続
文化を想像する魅力づくり	4-2-4	文化交流の促進	国内外との文化交流	外国語や外国文化を学ぶ教室、講座の開催	文化スポーツ課(国際交流)	国際文化交流会(国際交流講演会)	外国人や外国に詳しい人等を講師として招き、講演会等を開催する。	外国文化について学ぶ機会を設ける。	あろま寄席(英語落語)や講演会を合計6回開催した。	A	特になし	外国文化について学ぶ機会を設ける。	継続
文化を想像する魅力づくり	4-2-4	文化交流の促進	国内外との文化交流	外国語や外国文化を学ぶ教室、講座の開催	文化スポーツ課(国際交流)	たかさご万灯祭においてラトローブ市の紹介	たかさご万灯祭においてラトローブ市の紹介	海外姉妹都市のラトローブ市を紹介する。	パネル展示や親善大使の協力により、海外姉妹都市のラトローブ市の紹介ができた。	A	特になし	海外姉妹都市のラトローブ市を紹介する。	継続
	5-1-1					3-1-4							
	5-1-2					4-1-2							
文化を想像する魅力づくり	5-1-3	文化による産業振興や地域の活性化	地域の活性化活動への支援	観光マップの作成	産業振興課(観光協会)	観光マップ(ガイドブック)	高砂市のPRや誘客を図るため、観光協会と共にマップやガイドを作成し、駅前観光案内所ちり、公共施設に設置する。また、イベントや会議の開催時に配付する。	観光マップを作成し、配布することにより高砂市のPRや誘客を図る。	「観詰BOOK」や「観詰マップ」を発行し、各種イベント等で配布することにより市内の情報を発信した。	A	掲載内容の随時の見直しが必要	高砂観光交流ビューローと連携し、観光マップの随時見直し・発行・配布することにより市内の情報を発信していく。	継続



基本目標	番号	基本施策	施策の方向	施策番号	担当課(主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を想像する魅力づくり	5-1-4	文化による産業振興や地域の活性化	地域の活性化活動への支援	文化を活かした観光振興・地域活性化事業	生涯学習課(文化遺産活用地域活性化事業実行委員会)	夫婦和合・結びのまち推進事業	夫婦和合・結びのまちとなるプロモーション事業の企画を検討する。	夫婦和合の象徴(ランドマーク)の構築を図る。	夫婦和合・結びのまちとなるプロモーション事業の企画を検討するため、若者会議を実施した。(4回)水引講習会実施(4回)結びのまちの聖地づくりを進めていくための事業の検討を行った。	B	夫婦和合・結びのまちとなるプロモーション事業の企画を検討する必要がある。	今後も、夫婦和合・結びのまちとなるプロモーション事業の企画を検討する。	継続
文化を想像する魅力づくり	5-1-4	文化による産業振興や地域の活性化	地域の活性化活動への支援	文化を活かした観光振興・地域活性化事業	生涯学習課(文化遺産活用地域活性化事業実行委員会)	文化遺産を活かした地域活性化事業(再掲3-3-2)	地域の文化遺産を活用し、地域活性化を図る市民主体の活動を支援する。	伝統的な文化遺産を生かした地域活性化を図る。文化庁補助事業	25年度は26団体、26年度は26団体、27年度は30団体、28年度は34団体、29年度は20団体が、事業採択を受け、祭礼用具の修繕や新調を行い、地域の伝統文化振興を推進している。	A	文化庁補助事業制度に執行管理面で変更があり、事業の運用や実施範囲に制限がかかるなど、各団体が苦慮している。	文化庁や県教委からの情報を各団体に提供し、円滑な事業推進を支援していく。	継続
文化を想像する魅力づくり	5-1-5	文化による産業振興や地域の活性化	地域の活性化活動への支援	地域の特産品の活用	子育て支援室(保育所)	行事や地域の特産品を取り入れた献立	・行事に伴った給食やおやつ の献立を検討し、実施する。 ・近隣の野菜をJAから購入する。 ・保育園の給食に行事や地域の特産品を取り入れる。	保育園の日常的な給食や食育行事のなかで高砂特産品を取り入れることで、地域活性化につなげる。	各園で、「浜のかあちゃん料理教室」や「楽笑村」が実施する体験事業(料理体験、稲刈り体験)と協力し、食育に関して学びながら、地域の活性化活動にも貢献した。また、給食やおやつ の献立を検討し、地元の特産品や旬の食材を取り入れた行事食や給食を提供した。	A	特になし	献立に地域の食材を取り入れることで地元の特産品に関して知ることができ食の知識が広がった。	継続
文化を想像する魅力づくり	5-1-5	文化による産業振興や地域の活性化	地域の活性化活動への支援	地域の特産品の活用	学務課	行事や地域の特産品を取り入れた献立	・行事に伴った給食の献立を検討し、実施する。 ・近隣の野菜をJAから購入する。 ・学校給食に行事や地域の特産品を取り入れる。	・行事食を通して伝統や歴史を学び地域の食文化を未来に伝えていく。 ・地元の食材の旬を知らせる。	・行事に伴った給食の献立を実施できた。 ・近隣の野菜をJA等から購入できた。 ・学校給食に行事や地域の特産品を取り入れることができた。 ・食育月間に県内産100%の献立を実施した。	A	・青果物の生産者が高齢化で減少している。	・行事に伴った給食の献立を検討し、実施する。 ・近隣の野菜をJAから購入する。 ・学校給食に行事や地域の特産品を取り入れる。	継続
文化を想像する魅力づくり	5-2-1	文化による産業振興や地域の活性化	特産品の開発、販売	地域ブランド商品の開発、促進	産業振興課(高砂物産協会)	地域ブランド商品発信事業	松右衛門帆布及び高砂染関連商品等を観光案内所ちりで販売し、ブランドイメージを高めていく。	高砂市の物産品のPRを図る。	ぼっくりんグッズ・高砂染関連商品等を観光案内所ちりで販売し、高砂市をPRした。	A	新たな特産品の開発が必要である。	今後もぼっくりんグッズ・高砂染関連商品等を観光案内所ちりで販売し、高砂市をPRしていくとともに新たな特産品の開発を支援していく。	継続

基本目標	番号	基本施策	施策の方向	施策番号	担当課(主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を想像する魅力づくり	5-2-2	文化による産業振興や地域の活性化	特産品の開発、販売	高砂ブランド商品の活用	産業振興課	「たかさご未来寄附金」の高砂ブランド商品贈呈	寄附者に対して高砂ブランドの記念品を贈呈する。	高砂名産品の魅力を発信し、高砂ブランドを広める。	高砂ブランドの記念品の追加や見直しを行い、高砂ブランド商品をPRした。寄附額は年々増加している。	A	記念品の見直しや新たな記念品の発掘が必要である。	高砂ブランドの記念品の追加や見直しを行い、高砂ブランド商品を活用・PRしていく。	継続
文化を想像する魅力づくり	5-2-2	文化による産業振興や地域の活性化	特産品の開発、販売	高砂ブランド商品の活用	産業振興課(高砂物産協会)	高砂ブランド商品のPR	ぼっくりんグッズ、松右衛門帆布、高砂染関連商品など高砂ブランド商品を観光案内所ちりで販売する。	高砂ブランド商品のPR及び販路開拓を図る。	ぼっくりんグッズ・高砂染関連商品を観光案内所ちりで販売し、高砂市をPRした。	A	新たな特産品の開発が必要である。	今後もぼっくりんグッズ・高砂染関連商品等を観光案内所ちりで販売し、高砂市をPRしていくとともに新たな特産品の開発を支援していく。	継続
文化を想像する魅力づくり	5-2-3	文化による産業振興や地域の活性化	特産品の開発、販売	ご当地グルメの発信	産業振興課(市内商業者・商工会議所)	ご当地グルメ発信	高砂市のPRや市内への誘客を図るため、各種イベントを通じて高砂にくてんや高砂あなごを紹介する。	高砂にくてんや高砂あなご等ご当地グルメをPRすることにより高砂市のPRを図る。	高砂にくてんや高砂あなご等ご当地グルメをPRし、高砂市のPRを図った。	A	ご当地グルメのPR方法等を検討する必要がある。	今後も高砂にくてんや高砂あなご等ご当地グルメをPRしていくとともにPR方法を関係団体等を検討していく。	継続
	5-2-4					5-1-5							
文化を想像する魅力づくり	5-2-5	文化による産業振興や地域の活性化	特産品の開発、販売	商店街の活性化事業との連携	産業振興課(高砂アートタウンプロジェクト)	アートタウンプロジェクト	空き家、空き店舗をアトリエやギャラリーとして芸術家等を増やすとともに、その活動を支援する。	空き家、空き店舗を芸術家等に貸し出し、アトリエやギャラリーとして活用することにより、まちを活性化させる。	ATPの会議に出席するとともに、ATPの活動を支援した。	B	空き家・空き店舗の有効活用に繋がっていない。	今後もATPの会議に出席し、ATPの活動を支援していく。	継続
	5-3-1					4-1-2							
	5-3-3					3-2-3							

基本目標	番号	基本 施策	施策の 方向	施策 番号	担当課 (主催)	事業の名称	事業の概要	事業目的	達成状況	評価	課題	今後の取組・方向性	
文化を 想像する 魅力づくり	5-3-4	文化による 産業振興 や地域の 活性化	地名や風 景の活用	ロケ地資源 を整理し発 信、活用	産業振興課 (高砂市フ ィルムコミ ッション)	ロケ地誘致事 業	映画、ドラマ、 CM、その他テ レビ番組のロケ 地として高砂市 への誘致を図 る。	ロケ地として誘 致することによ り、高砂市の魅 力を全国に発 信し地域・観 光・経済の発展 に繋げる。	ロケ地PR事業として市内各地 で市民に協力をいただき「恋 するフオチュンッキー-高砂市Ver」 制作し無料動画投稿サイトに 掲載、高砂市のキャッチコピー を募集し高砂市をPRするCM を5話を制作し無料動画投稿 サイトに掲載するなどロケ地 PR事業を展開し、市内をロケ 地としてPRし、誘致を行った が、映画・CM等のロケ地誘致 には繋がっていない。	B	様々なロケ地誘致事業 を実施しているが、ロ ケ地誘致に繋がって いない。	ロケ地誘致体制を整え るとともに、パンフレット 等を作成し製作会社へ PRを行う。	変更